IPSiO CX400

セットアップガイド

はじめにお読みください

各部の名称とはたらき

本体の設置

オプションを取り付ける

G1058510A_1.10 JA G105-8510A

接続

インターフェース設定

プリンタードライバーのインストール

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、“分解禁止”を表します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します）

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 警 告

- アース接続してください。アースが接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、設置工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

- 本機の背面に表示の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。
- 電源コードが痛んだり、芯線の露出・断線などが見られる場合は、サービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーカートリッジは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーカートリッジは、販売店またはサービス実施店へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注 意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

- プリンター本体は約50kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面の中央下部にある取っ手を２人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

- ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナー（使用済みトナーを含む）が手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーを補給するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

- 定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンター本体の電源を切ってから約1時間待ち、定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

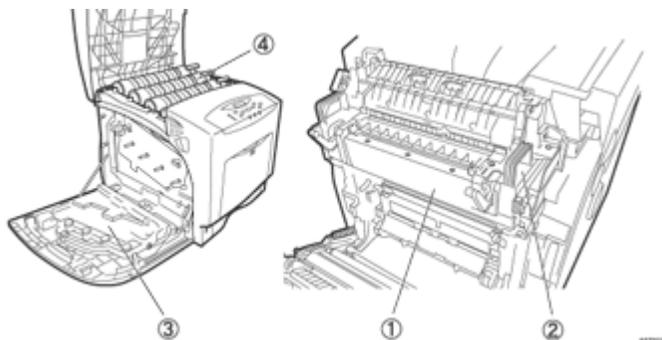
- 用紙交換の際、指はさみ、指のけがにご注意ください。

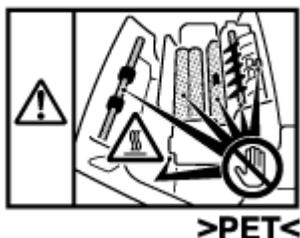
- 年に一度くらいは、内部の掃除をサービス実施店にご相談ください。この機械の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因になります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。

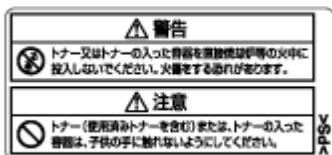
- 電源プラグは年に１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印の位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠警告、⚠注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

① 高温です。定着部の交換・用紙づまり処理は、主電源を切ってからしばらくお待ちください。

② 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

③ トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

④ トナー又はトナーの入った容器を直接焼却炉等の火中に投入しないでください。火傷をする恐れがあります。トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

エネルギースター

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。
このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギースターロゴマークを製品に表示することができます。
本製品は、同プログラムに掲げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

- 低電力機能
  - 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作部のキーを押すと解除されます。
  - 省エネモードのへの移行時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、<ソフトウェアガイド>「システム設定メニュー」を参照してください。
  - 機能の仕様

低電力機能	消費電力	6W
	省エネモードへの移行時間	30分
	復帰時間	30秒以下

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者にご相談ください。

使用説明書について

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

❖ セットアップガイド

本機に同梱されています。

プリンターを箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。オプションを購入された方は、本書の「オプションを取り付ける」をあわせてお読みください。

❖ メンテナンスガイド

本機に同梱されています。

＜メンテナンスガイド＞には、用紙に関する情報や消耗品の交換手順、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

❖ ソフトウェアガイド

付属の CD-ROM に、Web ブラウザでお読みいただく HTML 形式の電子マニュアルが収録されています。

＜ソフトウェアガイド＞では、プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

参照

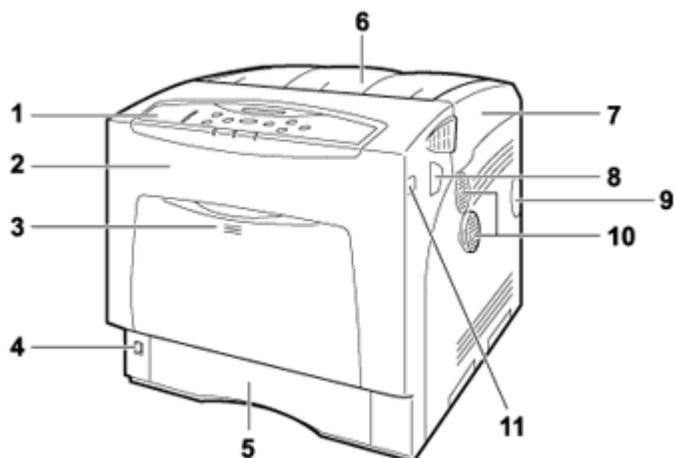
参照先を示します。

[ ]

画面のキーの名称を示します。

【 】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

全体

1. **操作部**

   キーを押してプリンターを操作したり、ディスプレイで動作状態を確認します。

2. **前カバー**

   定着ユニットや転写ローラーなどを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開けます。

   前カバーには２通りの開け方があります。両サイドにある８のレバー（A）を引くと「前カバー（A）」が開き、11の「Z」と書かれたボタンを押すと「前カバー（Z）」が開きます。

3. **手差しトレイ（マルチ）**

   用紙をセットします。普通紙で最大100枚までセットできます。

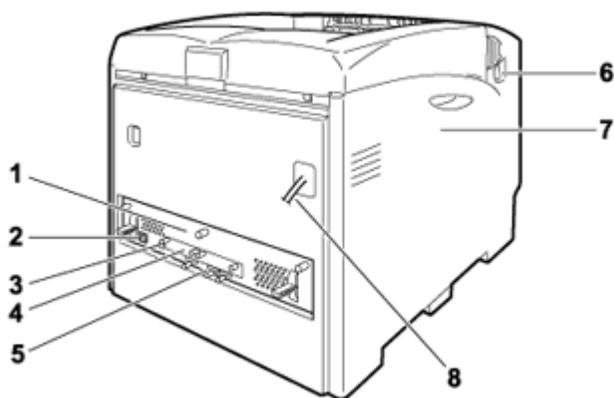
   補足

   ❒ A5よりも大きなサイズをセットするときは、図のように用紙支持板を引き出します。セットできる用紙サイズと種類については、<メンテナンスガイド>を参照してください。

4. **電源スイッチ**

   プリンターの電源をOn/Offの状態にします。

5. **給紙トレイ１ ［トレイ１］**
   用紙をセットします。普通紙で最大550枚までセットできます。
6. **排紙トレイ**
   印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。
7. **上カバー**
   トナーを交換するときに開けます。
8. **前カバー（A）開閉レバー**
9. **排気口**
10. **吸気口**
   機械内部の熱を抑えるために空気を取り入れ排出します。物を立て掛けたりして、吸気・排気口をふさがないでください。機械内部の温度が上昇すると故障の原因になります。
11. **前カバー（Z）開閉ボタン**

背面

1. **コントローラーボード**

SDRAMモジュールやアカウント拡張モジュール、拡張HDDを取り付けるときに、このボードを引き出します。

2. **イーサネットポート**

プリンターとネットワークを接続するイーサネットケーブルを接続します。

3. **USBポート**

プリンターとパソコンを接続するUSBケーブルを接続します。

4. **拡張インターフェースボード取り付け部**

拡張1394ボードや拡張無線LANボード、ワイヤレスインターフェースボード、拡張1284ボードを取り付けます。同時に２つの拡張インターフェースボードを取り付けることができます。

5. **拡張カード用スロット**

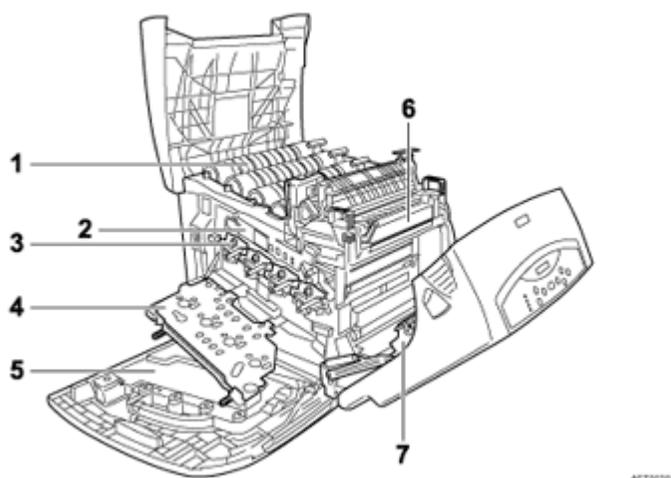
拡張エミュレーションカードや暗号化カードを取り付けます。装備している３つのスロットの真ん中のスロットをご利用ください。

6. **前カバー（A）開閉レバー**

7. **左カバー**

感光体ユニットや転写ユニット、廃トナーボトルを交換するときに開けます。

8. **電源コード**

内部

1. **トナーカートリッジ**

プリンター本体奥から、イエロー（Y）、シアン（C）、マゼンタ（M）、ブラック（B）トナーカートリッジの順にセットします。

操作部に“トナーヲホキュウ シテクダサイ”のメッセージが表示されたら交換します。

2. **転写ユニット（中間転写ユニット）**

“テンシャユニットコウカン”のメッセージが表示されたら交換します。

3. **感光体ユニット**

ブラック用の感光体ユニットが１本、カラー用の感光体ユニットが各１本セットされています。

“K カンコウタイコウカン”もしくは“３ C カンコウタイコウカン”のメッセージが表示されたら交換します。

4. **中カバー**

感光体ユニットや転写ユニットを交換するときに開けます。

5. **廃トナーボトル**

印刷時に排出されるトナーを回収するボトルです。

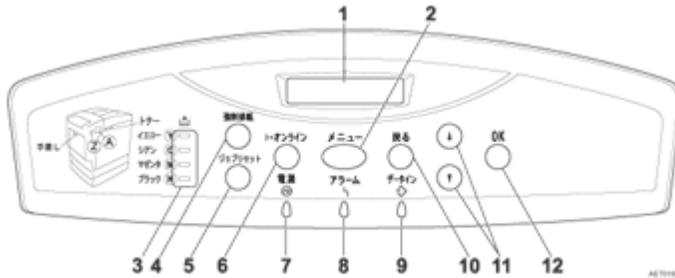
“ハイトナーボトルヲ コウカンシテクダサイ”のメッセージが表示されたら交換します。

6. **定着ユニット**

“メンテキットコウカン”のメッセージが表示されたら交換します。定着ユニットの交換については、サービス実施店に連絡してください。

7. **転写ローラー**

“メンテキットコウカン”のメッセージが表示されたら交換します。転写ローラーの交換については、サービス実施店に連絡してください。

操作部

1. **ディスプレイ**

プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。

補足

❒ 省エネモードに移行すると、バックライトが消灯します。省エネモードの設定については、＜ソフトウェアガイド＞「システム設定メニュー」を参照してください。

2. **【メニュー】キー**

操作部で行うプリンターに関するすべての設定は、このボタンを押してメニュー内部で行います。

3. **トナーエンド**LED

LEDの点灯色で、各色のトナー状況を知らせます。トナーがニアエンドのときは「黄色」、トナーの交換が必要なときは「赤色」に点灯します。

4. **【強制排紙】キー**

オフライン状態のときは、プリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

オンライン状態のときに送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に、強制的に印刷することができます。

5. **【ジョブリセット】キー**

印刷中または受信中のデータを取り消すときに使用します。

6. **オンラインランプ/【オンライン】キー**

プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かを示し、キーを押すことでオンラインとオフラインを切り替えることができます。

「オンライン状態」はパソコンからのデータを受信できる状態で、ランプが点灯します。

「オフライン状態」はパソコンからデータを受信できない状態で、ランプが消灯します。

各種の設定中に**【オンライン】**キーを押すと、通常の画面に戻ります。

7. **電源ランプ**

8. **アラームランプ**

エラーが発生しているときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。

9. **データインランプ**

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

10.【戻る】キー

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、メニューから通常の表示に戻るときに使用します。

11.【▲】、【▼】キー

表示画面をスクロールさせるとき、設定値を増減させるときに使用します。キーを押しつづけると、表示が早くスクロールしたり、あるいは数値が10単位で増減します。

12.【OK】キー

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに使用します。

設置環境、電源・アースを確認する

⚠ 警 告

- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

⚠ 警 告

- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。

⚠ 警 告

- 本機の背面に表示の電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

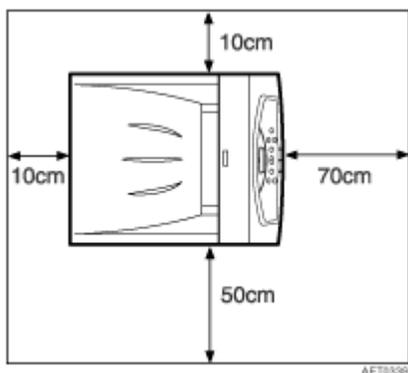
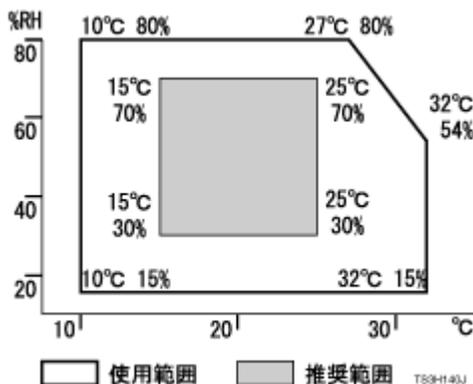
⚠ 注 意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

設置環境を確認する

設置環境については、次のことを守ってください。

- 本機は、水平でがたつきのない場所を選んで設置してください。

- 用紙の補給、消耗品の交換、紙づまりの処置などをスムーズに行うために、本機の周辺に目安として図のようなスペースを確保してください。

- 温度や湿度が以下の使用範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

- 設置する台の水平度：前後左右5mm以下
- 故障の原因になりますので、次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所
  - エアコンや暖房機などの温風・ふくしゃ熱が直接当たる所
  - 通気性、換気の悪い所。また、ほこりの多い所
  - ラジオ、テレビ、その他のエレクトロニクス機器に近い所
  - 加湿器に近い所

電源・アースを確認する

本機の電源については、次のことを守ってください。

- 100V、12A以上、50/60Hzの電源をご使用ください。
- 本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。
  - コンセントのアース端子
  - 接地工事（D種）を行っているアース線

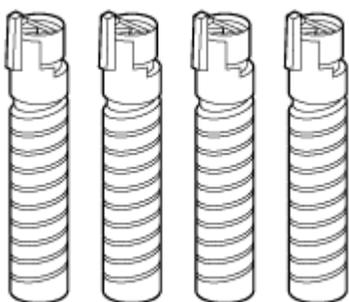
同梱品を確認する

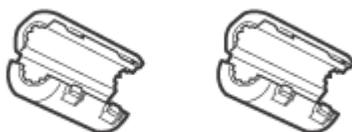
不足品や不具合があった場合は、本機を購入された販売店までご連絡ください。

❖ **使用説明書、CD-ROM**

☑セットアップガイド（本書）
☐メンテナンスガイド
☐CD-ROM「プリンタードライバー＆ユーティリティー」1枚

❖ **部品**

☐トナーカートリッジ：ブラック（K）、マゼンタ（M）、シアン（C）、イエロー（Y）

AET028S

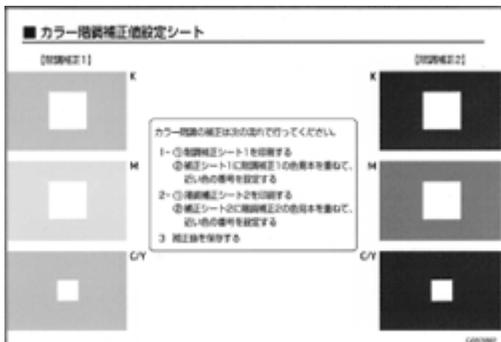
☐イーサネットケーブル用フェライトコア × 2個

AET510S

補足

❒ インターフェースケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。インターフェースケーブルについては、<メンテナンスガイド>「付録」を参照してください。

☐給紙トレイシール

AET031S

❒カラー階調補正値設定シート

補足

❒ このシートはカラー階調補正をする際の色見本として使用します。変色や色あせを防止するため、光のあたらない場所で保管してください。シートの使い方については、＜メンテナンスガイド＞「カラー階調を補正する」を参照してください。

❖ その他

❒お客様登録はがき、(仮)保証書
❒リコー製品サービス窓口一覧
❒マイバンク＆QA登録票
❒IPSiOコールセンターシール

プリンターを取り出す

本機には、輸送時の振動や衝撃から機器を守るために、固定材や保護テープが取り付けられています。本機を設置場所（もしくはその付近）に運んだら、これらの固定材や保護テープを取り外してください。

⚠ 注 意

- プリンター本体は約50kgあります。
- 機械を移動するときは、両側面にある中央下部の取っ手を２人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

⚠ 注 意

- プリンター本体の左カバーと中カバーを開けたときに、カバーの上にはものを載せないでください。

★ 重要

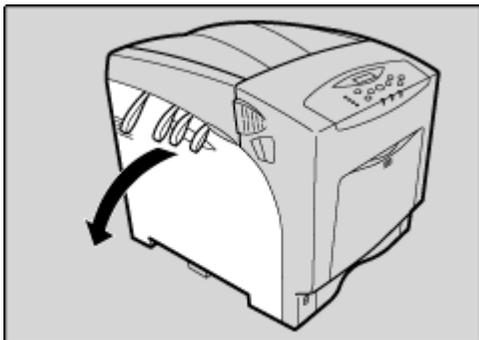
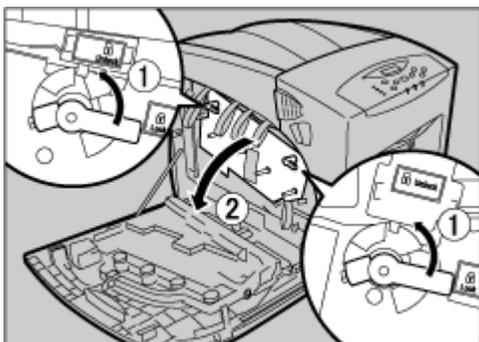
- ❒ 感光体ユニットから出ているテープを引き抜くときは、必ずすべて引き抜いてください。テープを引き抜かないで動作させると、故障の原因になります。
- ❒ はがしたテープは汚れています。手や衣服などに触れないように注意してください。

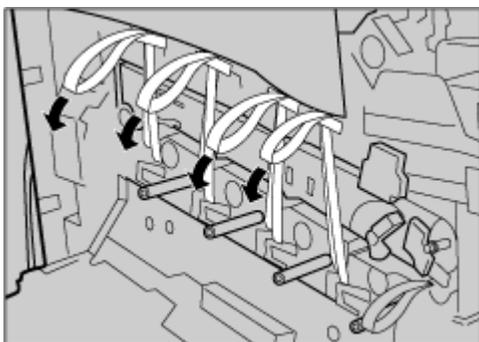
1 プリンターを覆うビニールを開きます。

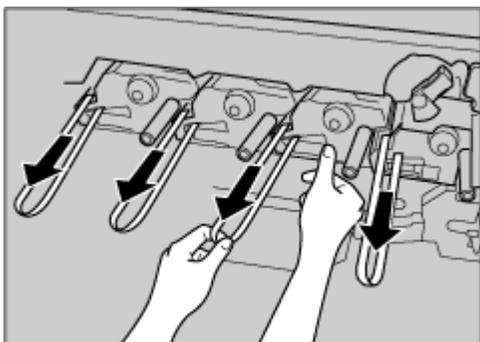
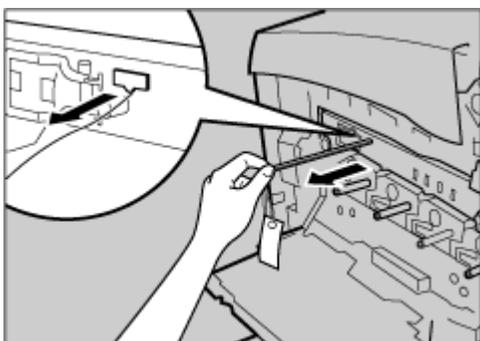
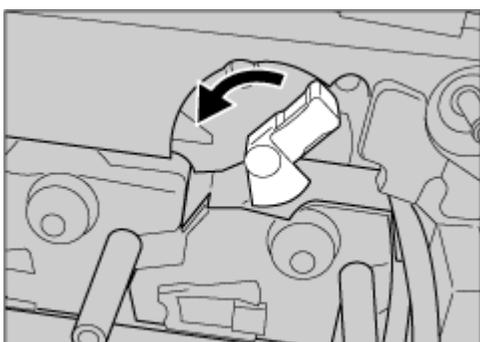
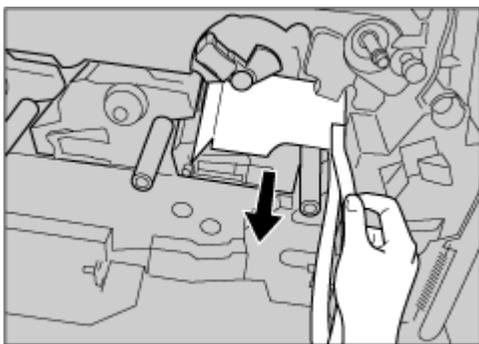
2 プリンター本体の両側面にある運搬用の取っ手を持ち、2 人以上でゆっくりと持ち上げ運びます。

AET034S

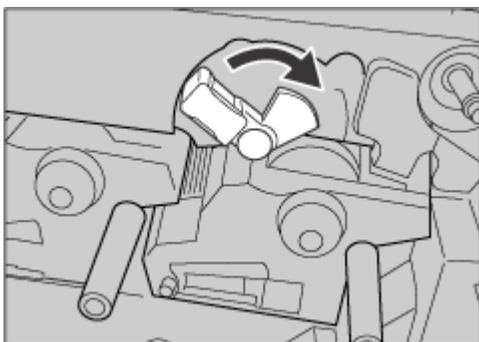
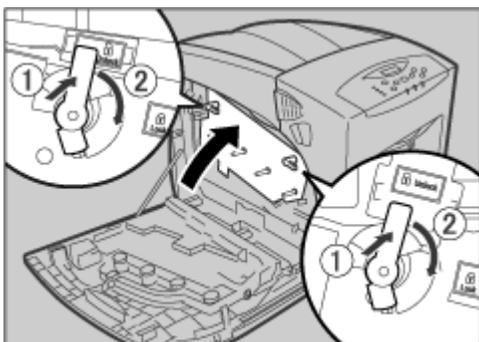
3 プリンター本体についている固定用テープをすべて取り除きます。本体排紙部にテープでとめられているダンボールも取り除きます。

4 プリンター本体の左カバーを開けます。左カバーにはさまっているオレンジのテープは、そのままにしてください。

5 緑色のレバーを反時計回りに回し（①)、中カバーをゆっくりと開けます（②)。

AET801S

6 テープの端をプリンターから剥がします。

AET802S

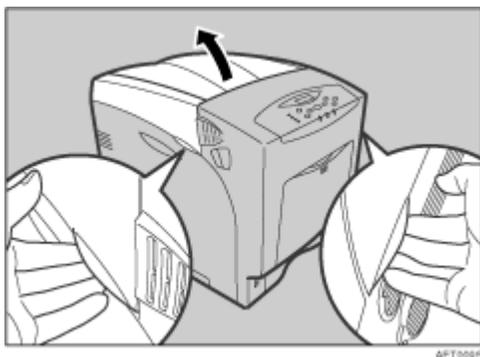
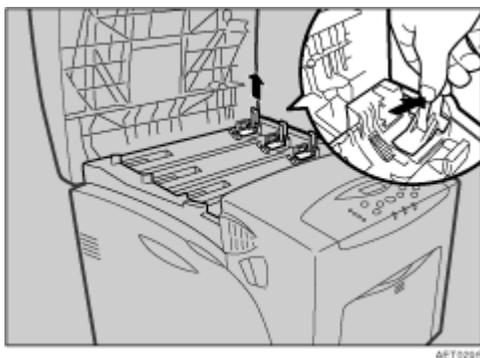
7 感光体ユニットから出ている４本のテープを、水平にゆっくりと引き抜きます。

8 赤い札がついた針金を引っ張り、転写ユニットから固定ピンを引き抜きます。

9 転写ユニットの緑色のレバーを反時計回りに回し、ロックを解除します。

10 オレンジのテープをつまみ、保護シートを引き抜きます。

AET806S

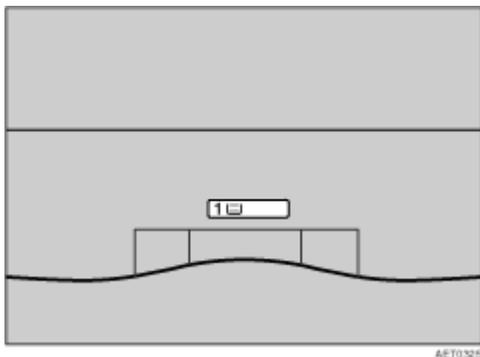
11 緑色のレバーを時計回りに回してロックします。

AET146S

12 中カバーを閉め、緑色のレバーを押し込み（①)、時計回りに回してロックします（②)。

AET017S

13 左カバーを閉じます。

左カバーはカチッと音がするまでしっかり閉めます。

14 プリンター本体の上カバーを開けます。

15 トナーの補給口を保護している、４つのクリップをすべて取り外します。

16 上カバーを閉じます。

17 給紙トレイシール「1」を、トレイの前面に貼り付けます。

トナーカートリッジをセットする

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般のプラスチック廃棄物あるいは回収システムにより処理してください。

⚠警告

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）が目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- トナー（使用済みトナーを含む）を飲み込んだ場合は、胃の内容物を大量の水で希釈してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

⚠注意

- 紙づまりの処置やトナーを補給するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

⚠ 注 意

- トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

重要

❒ 最初にプリンターを使用するときは、同梱している４本のトナーカートリッジを必ず使用してください。

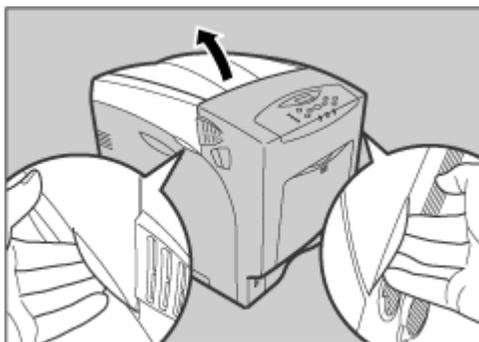
補足

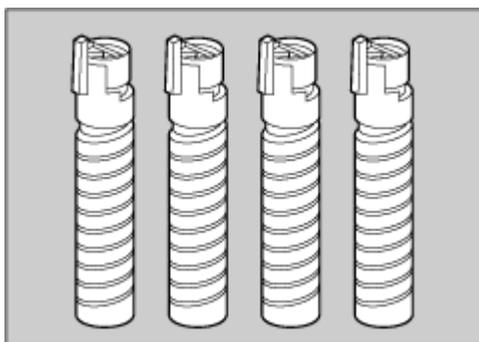
❒ 同梱品のトナーカートリッジの印刷可能ページ数は、約3,000ページです。この印刷可能ページ数は、A4▯5%チャートを印刷した場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は、印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、環境条件によって異なります。トナーは時間の経過とともに劣化するため、使用期間によっては、上記ページ数より早く交換が必要になる場合があります。

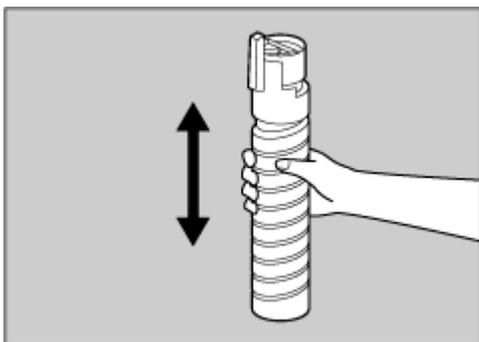
❒ 交換用のトナーカートリッジには、印刷可能ページ数が約15,000ページと約5,000ページのものがあります。

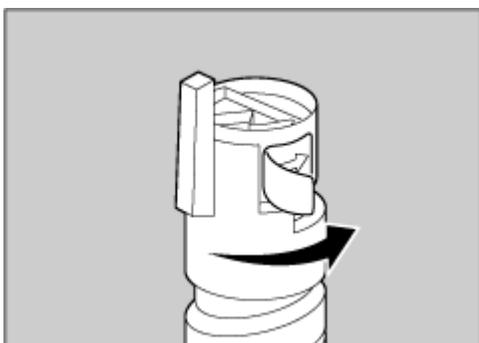
❒ トナー（消耗品）は保証対象外です。ただし、ご購入になった時点で不具合があった場合は購入された販売店まで連絡してください。

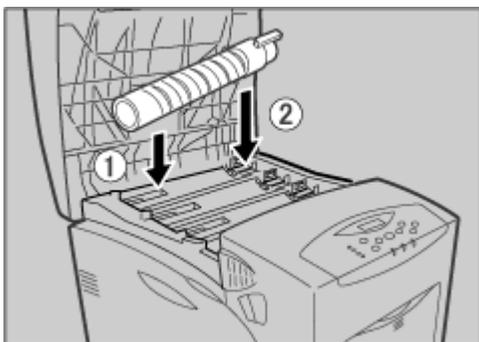
❒ 本機は品質検査後に清掃をしていますが、トナーの補給口が汚れている場合があります。

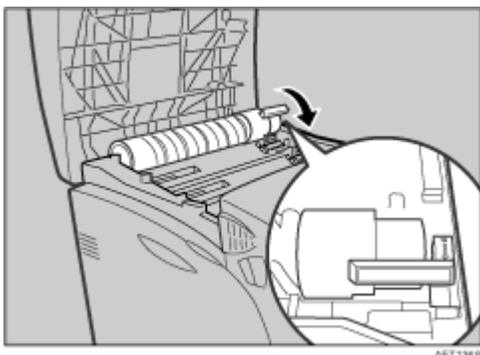
1 プリンター本体の上カバーを開けます。

AET009S

2 トナーカートリッジを箱から取り出します。

AET131S

3 トナーカートリッジを上下に７、８回振ります。

AET132S

4 トナーカートリッジの固定テープをはがします。

AET133S

5 最初にイエロー（Y）トナーカートリッジをセットします。固定レバーが上になるよう、トナーを水平に保ち、トナーカートリッジの底から先に取り付け（①)、固定レバーを三角マークの位置に合わせます（②)。

AET135S

6 固定レバーを回転させて、◯マークの位置に合わせます。

補足

❒ 固定レバーを本機に押しつけるようにして動かすと、固定レバーはスムーズに回転します。

7 同じ手順で、残りのトナーカートリッジを、シアン（C）、マゼンタ（M）、ブラック（K）の順にセットします。

8 上カバーを閉めます。

参照

トナーカートリッジの交換については、＜メンテナンスガイド＞「消耗品を交換する」を参照してください。

消耗品をお買い求めの際は、＜メンテナンスガイド＞「付録」を参照してください。

用紙をセットする

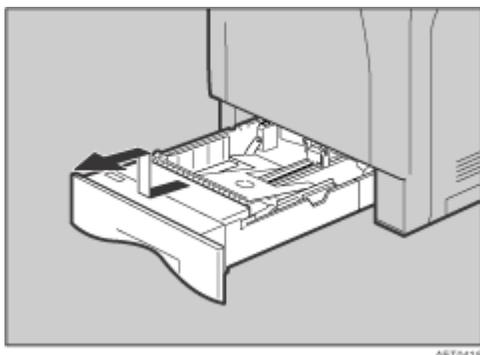
⚠ 注 意

- 給紙トレイを引き出すときは、強く引き出さないでください。トレイが落下し、けがの原因になります。

重要

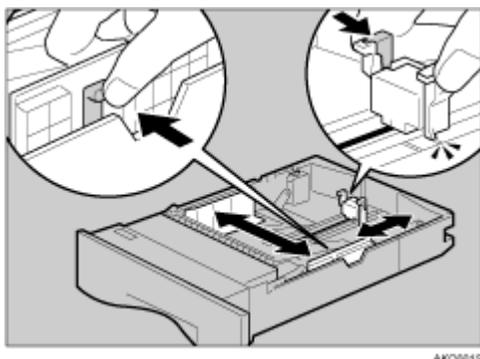
- ❒ セットする用紙の量は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- ❒ １つのトレイに異なる種類の用紙を混在させないでください。

1 給紙トレイを止まる位置までゆっくりと引き出し、前面を持ち上げて給紙トレイを引き抜きます。

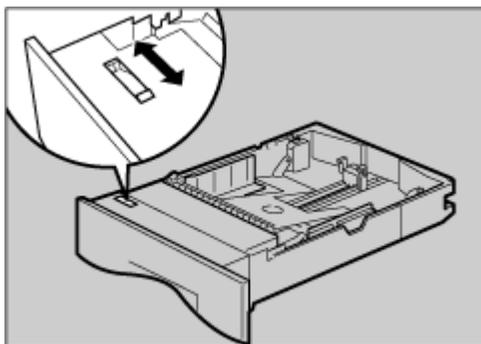
AET041S

引き抜いたトレイは水平な場所に置いてください。

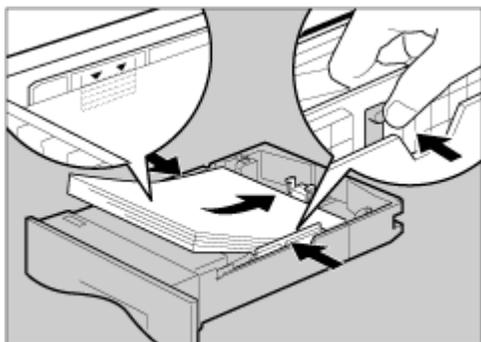
2 サイドガイドとエンドガイドを調整します。

サイドガイドの緑色のクリップをつまみながら最大幅まで広げます。次にエンドガイドの緑色のクリップをつまみながら、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。

AKQ001S

3 セットする用紙の種類に応じて、トレイ前部にある緑色の用紙圧変更スイッチを切り換えます。

紙厚が75g/m^2（64.5kg）よりも厚い用紙をセットするときは、スイッチを左側にスライドさせます。

AET053S

4 新しい用紙をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。

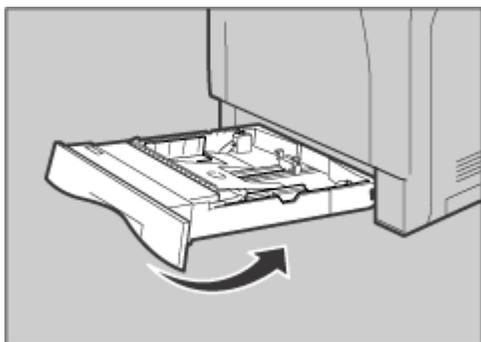
サイドガイドの緑色のクリップをつまみながら、セットした用紙の幅に合わせます。

AKC002S

★ 重要

❒ 用紙と用紙ガイドの間にすき間がないことを確認してください。すき間がある場合は、用紙ガイドを操作して調整してください。

5 前面を持ち上げようにして給紙トレイを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。紙詰まりを防ぐため、きちんとトレイを閉めてください。

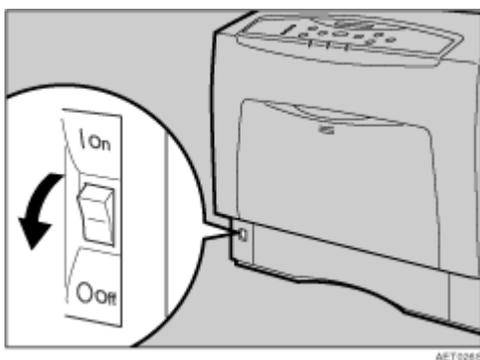
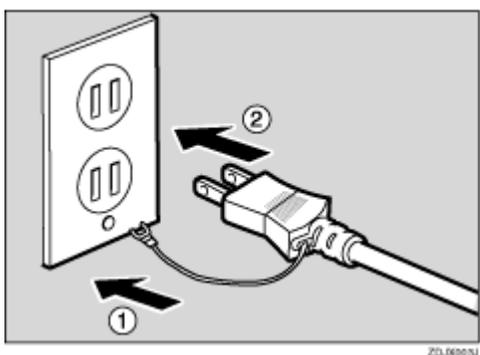
AET045S

★ 重要

❒ トレイを勢いよく入れると、トレイの用紙ガイドがずれることがあります。

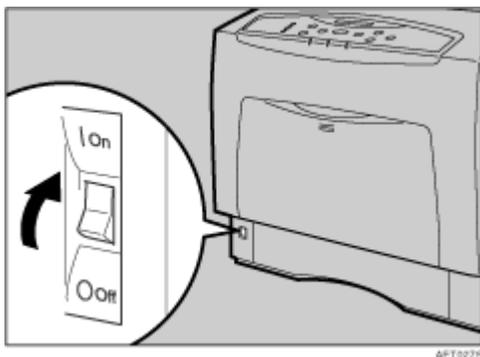
電源を入れる

⚠ 警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

1 電源が「◯ Off」側になっていることを確認します。

2 アース線を接続し（①）、次に電源プラグをコンセントに差し込みます（②）。

重要

- ❒ 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- ❒ 電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

3 電源スイッチを「❙ On」側にします。

操作部の電源ランプが点灯し、「オマチクダサイ」のメッセージが表示されます。本機の初期設定が完了するまでしばらくお待ちください。初期設定は５～７分かかります。初期設定中に動作音が聞こえますが、故障ではありません。

初期設定中に電源を切らないでください。

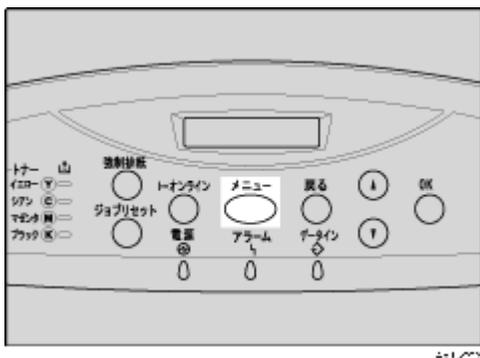
補足

❒ 電源を切るときは、印刷中や印刷データの受信中でないことを確認してください。印刷中はデータインランプが点灯し、印刷データの受信中は点滅します。

テスト印刷する

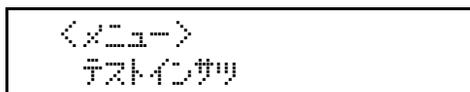
プリンターが正常に印刷できることを確認するために、テスト印刷を行います。テスト印刷はプリンター本体の動作確認です。パソコンとの接続テストではありません。

ここではシステム設定リストの印刷を例に説明します。

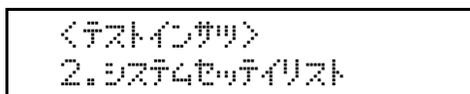
1 【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

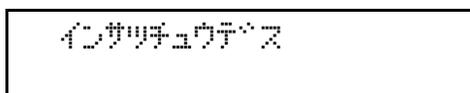
＜メニュー＞
ヨウシセッテイ

2 【▲】または【▼】キーを押し、「テストインサツ」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜メニュー＞
テストインサツ

テスト印刷の選択画面が表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを押し、「システムセッテイリスト」を表示させ、【OK】キーを押します。

＜テストインサツ＞
2.システムセッテイリスト

次の画面が表示され、システム設定リストが印刷されます。

インサツチュウデス

補足

❒ 正常に印刷できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認してください。表示されている場合は、＜メンテナンスガイド＞「困ったときには」を参照して、エラーの対処をしてください。

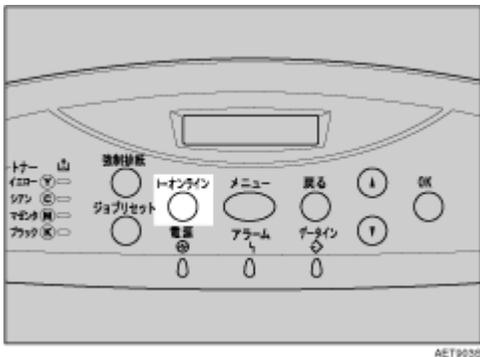
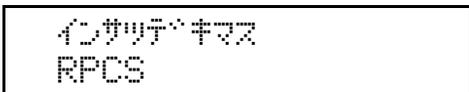
4 オプション構成を確認します。

補足

- ❒ システム設定リストの詳細については、＜ソフトウェアガイド＞「システム設定リストの見かた」を参照してください。

5【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

オプションの構成

⚠ 注 意

- オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

この章では、オプションの取り付け方について説明します。

オプションを取り付けるとプリンターの性能をさらに高め、機能を拡張することができます。各オプションについては、<メンテナンスガイド>「関連商品一覧」を参照してください。

オプション取り付けの流れ

本機に複数のオプションを取り付ける場合は、以下の順に取り付けることをおすすめします。

1. 500枚増設トレイユニットを取り付ける。

   給紙トレイとして本機の底部に取り付けます。最大２段まで取り付けることができます。

   500枚増設トレイユニットを２段取り付けた場合、最大1,750枚の用紙を同時にセットできます。

2. SDRAMモジュールを取り付ける。

   コントローラーボード内のスロットに増設メモリを取り付けます。増設メモリは、128Mバイトと256Mバイトの２種類があります。

3. アカウント拡張モジュールを取り付ける。

   コントローラーボード内のアカウント拡張モジュール用スロットに取り付けます。

4. 拡張HDDを取り付ける。

   コントローラーボード内の装着スペースに拡張HDDを取り付けます。

5. 拡張1394ボード、拡張無線LANボード、ワイヤレスインターフェースボード、拡張1284ボードを取り付ける。

   コントローラーボードのスロットに拡張インターフェースボードを取り付けます。２つの拡張インターフェースボードを同時に取り付けることができます。

   ★ 重要

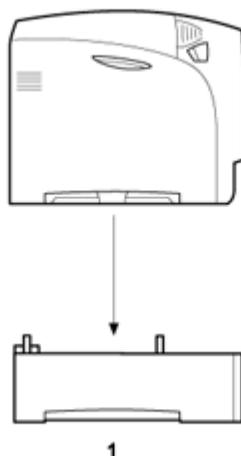
   ❒ 拡張無線LANボードとワイヤレスインターフェースボードは同時に使用できません。

6. 拡張エミュレーションカード、暗号化カードを取り付ける

   コントローラーボードのカード用スロットに、拡張エミュレーションカードもしくは暗号化カードを差し込みます。

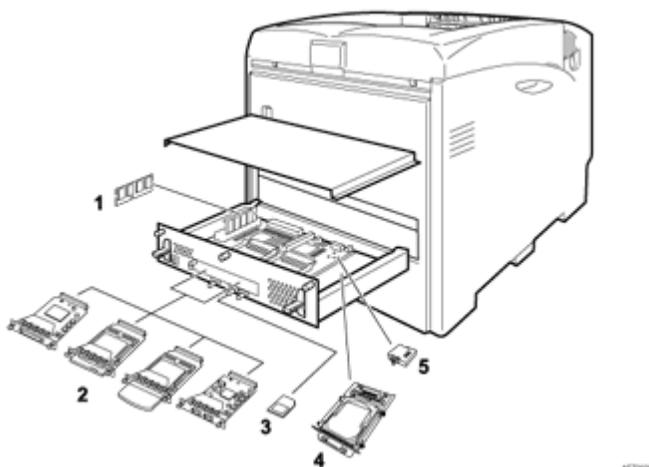
オプションの取り付け

オプションを取り付ける位置は以下のとおりです。

❖ 外部

1. 500**枚増設トレイユニット**

500 枚増設トレイユニットは２段まで取り付け可能です。取り付けた増設トレイユニットは、「トレイ２」、「トレイ３」になります。

詳しくは、P.40 「500枚増設トレイユニットを取り付ける」を参照してください。

❖ 内部

1. SDRAM**モジュール**

P.42 「SDRAMモジュールを取り付ける」

2. 拡張1394ボード/拡張無線LANボード/ワイヤレスインターフェースボード/拡張1284ボード

P.58 「拡張1394ボードを取り付ける」
P.61 「拡張無線LANボードを取り付ける」
P.65 「ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける」
P.69 「拡張1284ボードを取り付ける」

3. 拡張エミュレーションカード/暗号化カード

P.71 「拡張エミュレーションカード、暗号化カードを取り付ける」

4. 拡張HDD

P.52 「拡張HDDを取り付ける」

5. アカウント拡張モジュール

P.47 「アカウント拡張モジュールを取り付ける」

補足

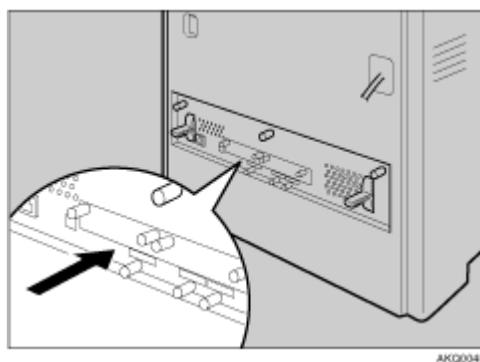
❒ **拡張インターフェースボードは、拡張1394ボード、拡張無線LANボード、ワイヤレスインターフェースボード、拡張1284ボードのうち２種類を同時に取り付けることができます。**

参照

各オプションの仕様については、＜メンテナンスガイド＞「付録」を参照してください。

コントローラーボードを取り付けるときの注意

SDRAMモジュールや拡張HDD、アカウント拡張モジュールのオプションを装着するときは、引き抜いたコントローラーボードの取り付けに注意してください。

コントローラーボードを取り付けるときは、図のようにボードの中央下部を押し、確実にプリンター本体に押し込んでください。

重要

❒ **コントローラーボードが確実に取り付けられていないと、次のような現象が起こる可能性があります。**

① **操作部のランプがすべて点灯する**

② **操作部のランプが一切点灯しない**

③ **ディスプレイに“サービスコール670”と表示される**

500枚増設トレイユニットを取り付ける

⚠ 警告

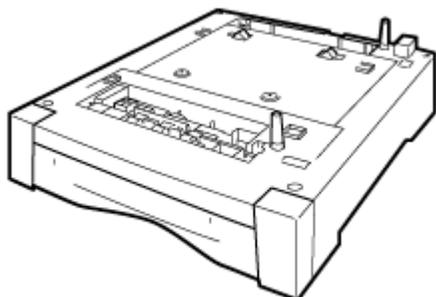
- プリンター本体は約50kgあります。
- 機械を移動させるときは、両側面の中央下部にある取っ手を２人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

★ 重要

- ❒ 複数のオプションを取り付けるときは、最初に500枚増設トレイユニットを取り付けてください。
- ❒ 500枚増設トレイユニットは最大で２段取り付けることができます。
- ❒ 500枚増設トレイユニットを２段取り付けると、上の段から「トレイ２」、「トレイ３」として認識されます。
- ❒ 取り付けた 500 枚増設トレイユニットを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をする必要があります。

1 同梱品を確認します。

❖ 500枚増設トレイユニット（給紙トレイ含む）

AET106S

2 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 500枚増設トレイユニットから固定テープを取り外します。

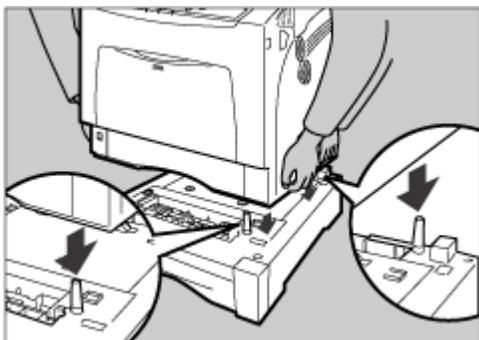
4 左右の取っ手をつかみ、プリンターを持ち上げます。

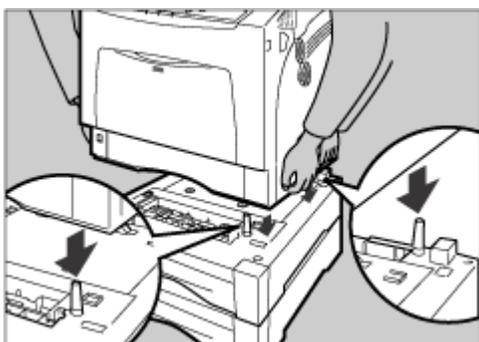
AET022S

重要

❒ 必ず２人以上で持ち上げてください。

5 プリンター本体を500枚増設トレイユニットの垂直ピンに合わせ、ゆっくりと降ろします。

AET074S

増設トレイユニットを２段取り付ける場合は、まず増設トレイユニットを2段にセットしてからプリンター本体を乗せてください。２段に積み重ねる方法は、プリンター本体に取り付ける方法と同じです。

AET075S

6 電源プラグをコンセントに差し込み、本機の電源を入れます。

7 「システム設定リスト」を印刷して、500枚増設トレイユニットが正しく取り付けられたことを確認します。

補足

❒ 500枚増設トレイユニットが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認できます。500枚増設トレイユニットが正しく取り付けられていると、「オプション機器」の欄に「トレイ２」と記載されます（２段増設時には「トレイ２、トレイ３」と記載されます）。

❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

❒ 印刷位置がずれたときは、＜メンテナンスガイド＞「印刷位置を調整する」を参照してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

SDRAMモジュールを取り付ける

⚠ 注 意

- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

重要

❒ SDRAMモジュールに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。

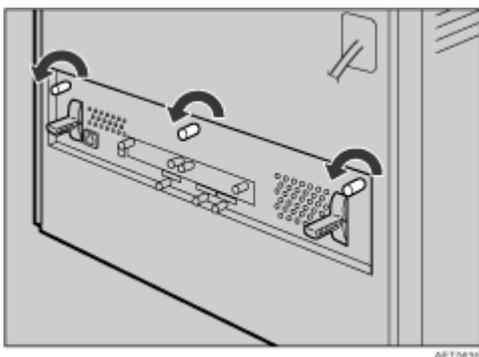
❒ SDRAMモジュールに物理的衝撃を与えないでください。

❒ 取り付けたSDRAMモジュールを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をする必要があります。

補足

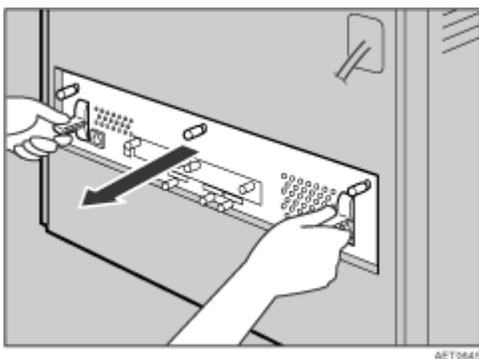
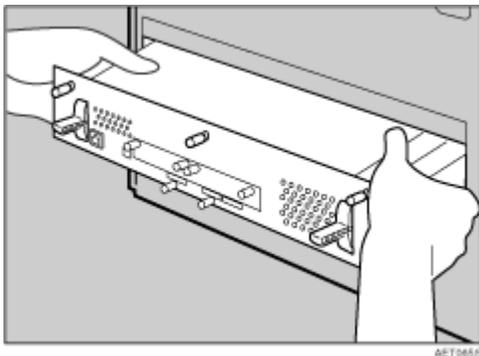
❒ 本機の搭載メモリーは128Mバイトです。最大512Mバイトまで増設できます。

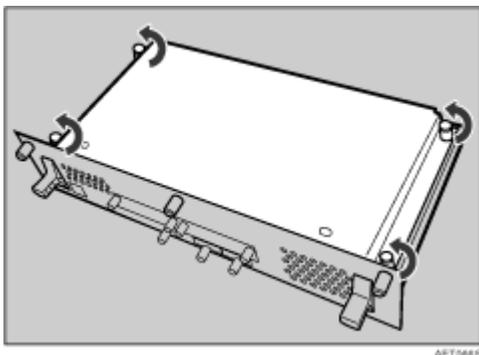
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 コントローラーボードを固定しているコインねじ3個をゆるめます。

コインねじを取り外すことはできません。

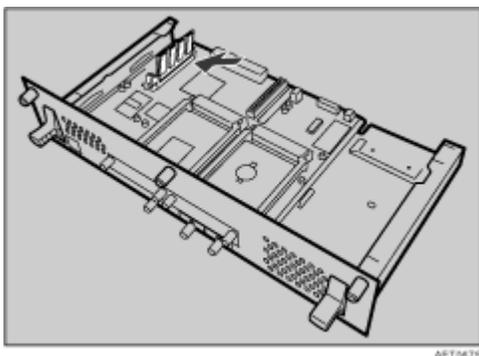
3 取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

両手でコントローラーボードをつかみ、最後まで引き抜きます。

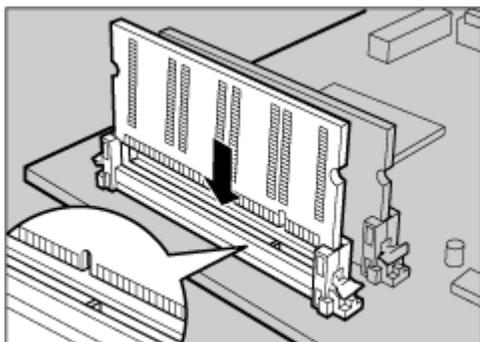
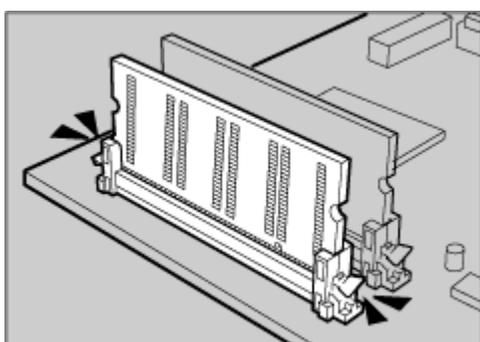
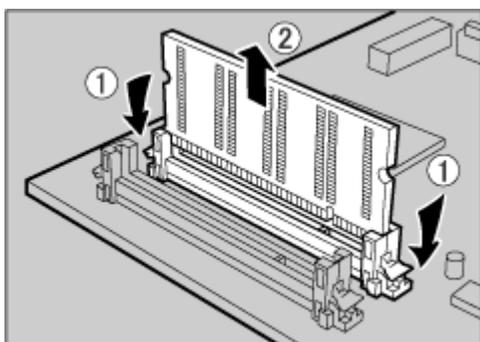
AET065S

4 コントローラーボードを机などの平らな場所に置き、コインねじ４個をゆるめてコントローラーカバーを取り外します。

AET066S

コインねじを取り外すことはできません。

5 SDRAMモジュールは以下のイラストに示したスロットに設置します。

AET067S

補足

❒ SDRAMモジュール用のスロットは２スロットあります。内側のスロットには、128MバイトのSDRAMモジュールがセットされています。メモリーを増設する場合は、外側の空いているスロットに増設するSDRAMモジュールを取り付けるか、標準搭載のSDRAMモジュールを256MバイトのSDRAMモジュールに差し替えてください。

6 空いているスロットにSDRAMモジュールを取り付けるときは、SDRAMモジュールの切り欠きを差し込み口の凸部分に合わせ、垂直に差し込みます。

7 カチッと音がするまで、SDRAMモジュールをしっかり真上から押し込みます。

8 標準搭載のSDRAMモジュールを256MバイトのSDRAMモジュールに差し替えるときは、左右のレバーを押し下げ（①）、標準搭載のSDRAMモジュールを取り外します（②）。

256MバイトのSDRAMモジュールを取り付けます。

補足

- メモリー容量を最大の512Mバイトにするには、256MバイトのSDRAMモジュールを２枚取り付けてください。

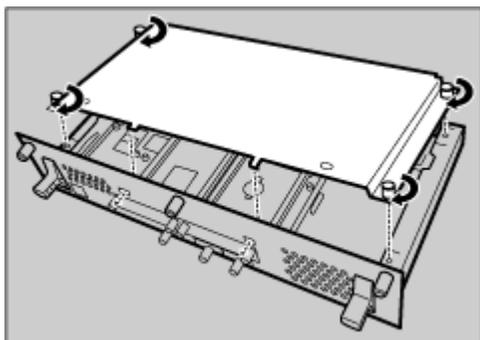
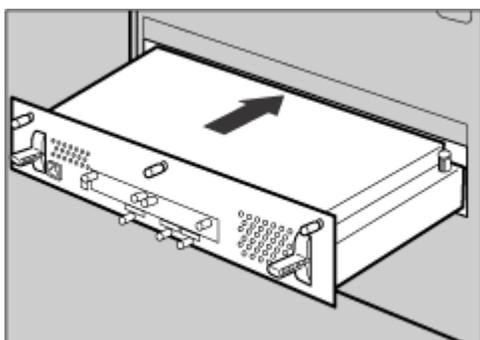
9 コントローラーボードに他のオプションを取り付ける場合は、コントローラーボードをセットしないで、次に取り付けるオプションの取り付け手順に進んでください。

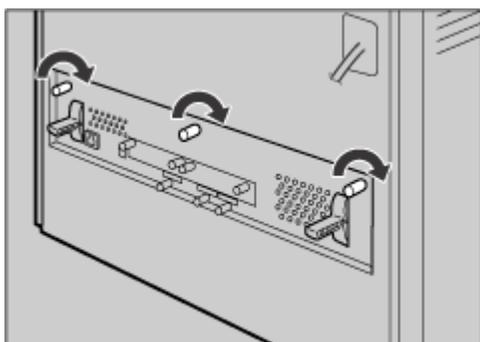
10 コントローラーカバーを取り付けます。カバーのツメをコントローラーボードの穴に差し込み、コインねじ４個を締めます。

AET807S

11 コントローラーボードを本機に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

AET071S

重要

- コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

12 コインねじ3個を締め、コントローラーボードを本機に固定します。

AET072S

補足

- SDRAMモジュールが正しく取り付けられたかどうかは、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。SDRAM モジュールが正しく取り付けられていると、「システム構成情報」の「搭載メモリ」の欄に搭載しているメモリーの合計値が記載されます。
- SDRAMモジュールの合計値は以下のとおりです。

標準	増設	合計値
128 MB	128 MB	256 MB
128 MB	256 MB	384 MB
256 MB	128 MB	384 MB
256 MB	256 MB	512 MB

❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順1からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.39「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。

アカウント拡張モジュールを取り付ける

注 意

- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

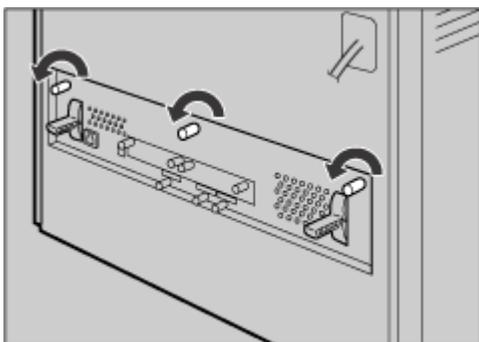
重要

- ❒ 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気によりアカウント拡張モジュールが破損する恐れがあります。
- ❒ アカウント拡張モジュールに物理的衝撃を与えないでください。

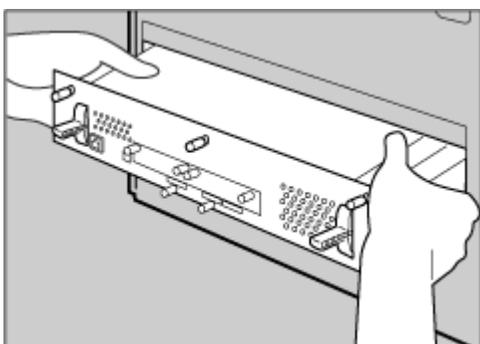
1 同梱品を確認します。

❖ **アカウント拡張モジュール**

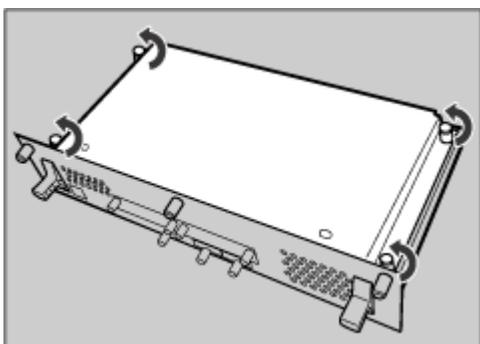
2 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 コントローラーボードを固定しているコインねじ3個をゆるめます。

コインねじを取り外すことはできません。

4 取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

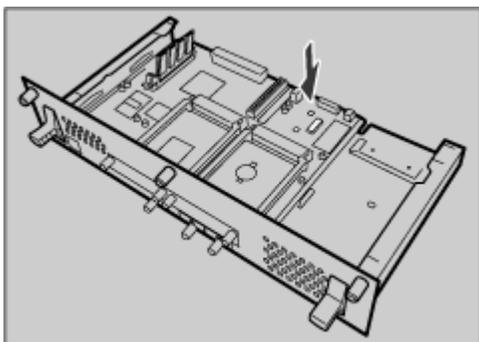
AET064S

両手でコントローラーボードをつかみ、最後まで引き抜きます。

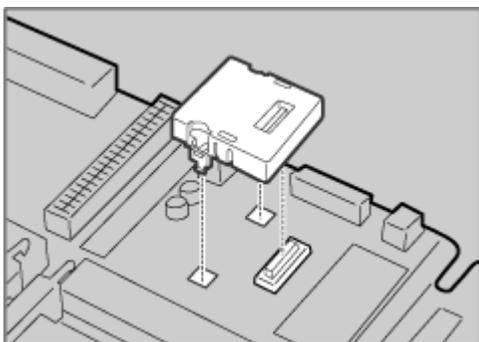
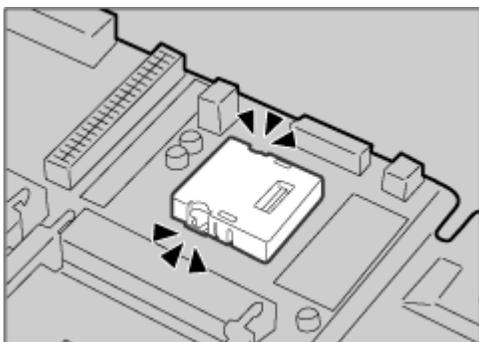
AET065S

5 コントローラーボードを机などの平らな場所に置き、コインねじ4個をゆるめてコントローラーカバーを取り外します。

AET066S

コインねじを取り外すことはできません。

6 アカウント拡張モジュールは、以下のイラストに示した場所に設置します。

AET068S

7 アカウント拡張モジュールの突起部分を、コントローラーボードの穴に差し込みます。

AET081S

8 カチッと音がするまで差し込み、アカウント拡張モジュールが固定しているか確認してください。

AET082S

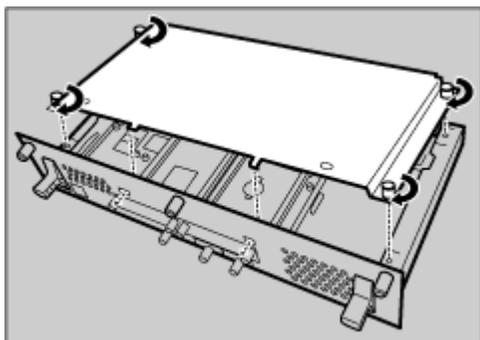
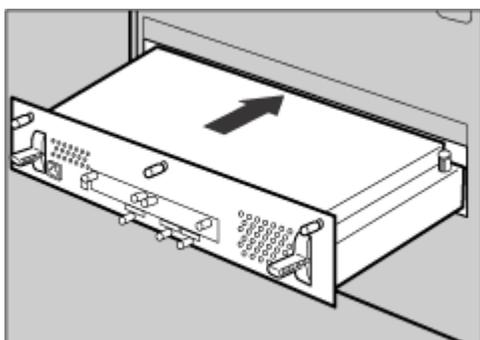
9 コントローラーボードに他のオプションを取り付ける場合は、コントローラーボードをセットしないで、次に取り付けるオプションの取り付け手順に進んでください。

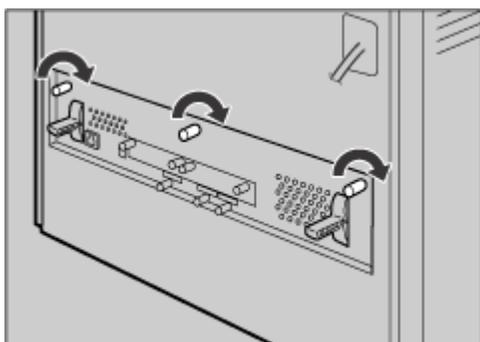
10 コントローラーカバーを取り付けます。カバーのツメをコントローラーボードの穴に差し込み、コインねじ４個を締めます。

AET807S

11 コントローラーボードを本機に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

AET071S

重要

- ❒ コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

12 コインねじ3個を締め、コントローラーボードを本機に固定します。

AET072S

補足

- ❒ アカウント拡張モジュールが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。アカウント拡張モジュールが正しく取り付けられると、「システム構成情報」の「コントローラーオプション」の欄に「アカウントモジュール」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

- ❒ 不要となったアカウント拡張モジュールは、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.39「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。

拡張HDDを取り付ける

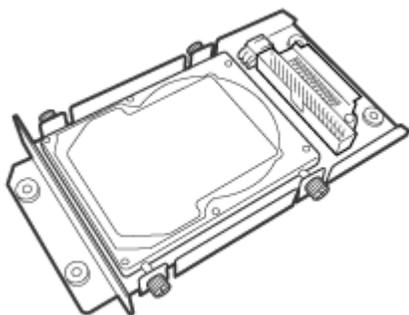
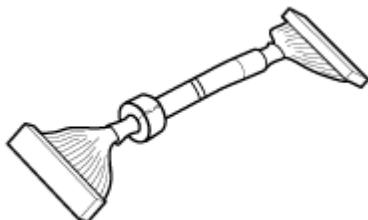
⚠ 注 意

- コントローラーボードをセットする箱の中に手を入れないでください。故障やけがの原因になります。

重要

- ❒ 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張HDDが破損するおそれがあります。
- ❒ 拡張HDDに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ 取り付けた拡張HDDを使用するには、プリンタードライバーでオプションの設定をする必要があります。

1 同梱品を確認します。

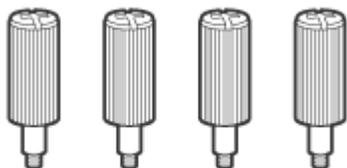
❖ **拡張HDD**

AET083S

❖ **フラットケーブル**

AKQ005S

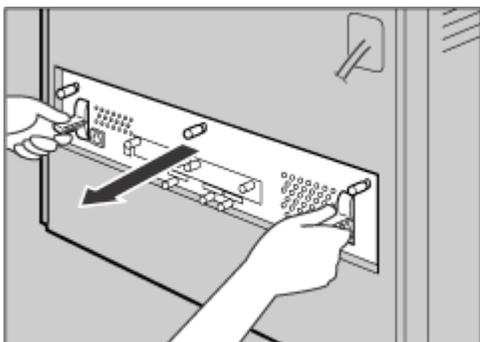
❖ **電源ケーブル**

AET065S

❖ **ねじ4個**

AET086S

2 **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

3 **コントローラーボードを固定しているコインねじ3個をゆるめます。**

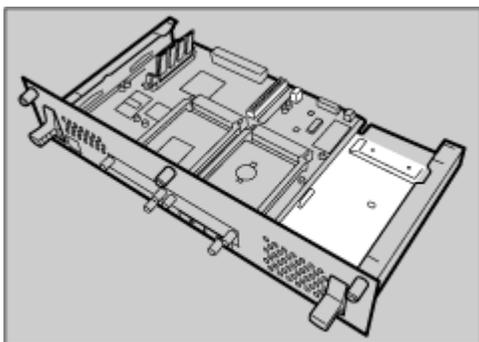
AET063S

コインねじを取り外すことはできません。

4 取っ手をつかみ、コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

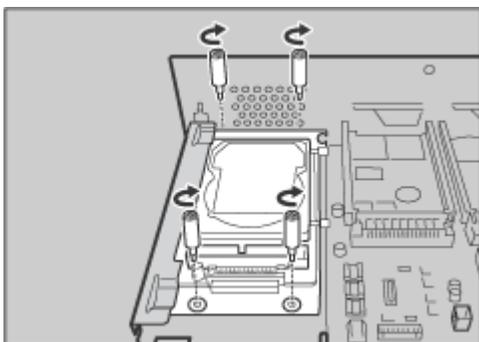
両手でコントローラーボードをつかみ、最後まで引き抜きます。

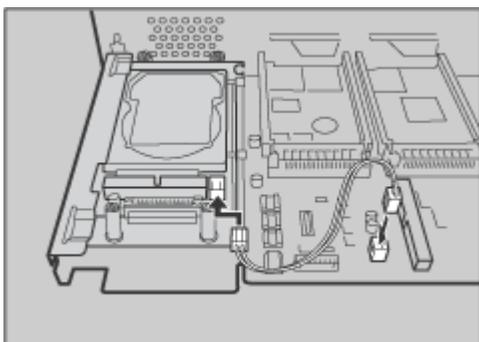
5 コントローラーボードを机などの平らな場所に置き、コインねじ 4 個をゆるめてコントローラーカバーを取り外します。

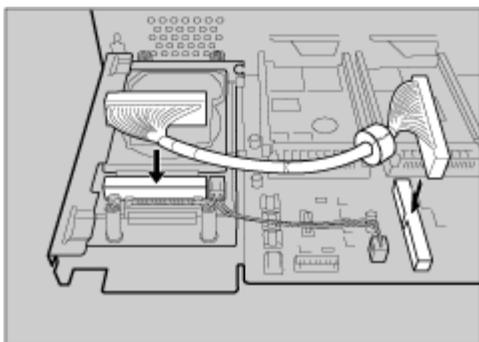
コインねじを取り外すことはできません。

6 拡張HDDは以下のイラストに示したスペースに設置します。

AET069S

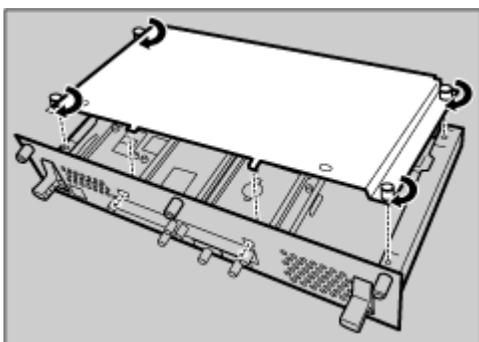
7 拡張HDDの付属のねじを使い、コントローラーボードに固定します。

AET087S

8 拡張HDDとコントローラーボードに電源ケーブルを取り付けます。

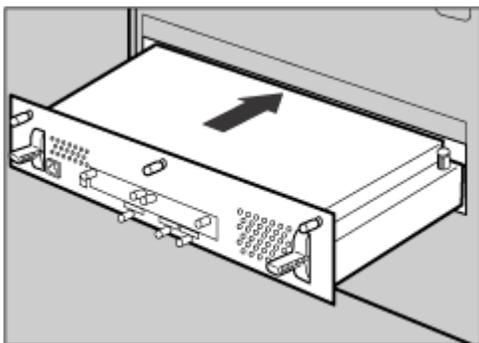
AET088S

9 拡張HDDとコントローラーボードにフラットケーブルを取り付けます。

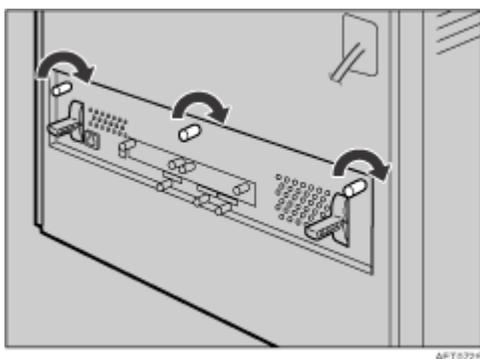
AKQ006S

10 コントローラーボードに他のオプションを取り付ける場合は、コントローラーボードをセットしないで、次に取り付けるオプションの取り付け手順に進んでください。

11 コントローラーカバーを取り付けます。カバーのツメをコントローラーボードの穴に差し込み、コインねじ４個を締めます。

AET807S

12 コントローラーボードを本機に差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

AET071S

重要

❒ コントローラーボードがきちんとセットされていないと正しく動作しません。

13 コインねじ3個を締め、コントローラーボードを本機に固定します。

プリンターの電源を入れると、拡張HDDの初期化（フォーマット）が自動的に開始されます。

補足

- 拡張HDDが正しく取り付けられたかどうかは「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張HDDが正しく取り付けられていると、「コントローラオプション」の欄に「ハードディスク」と記載されます。
- 正しく取り付けられていない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

コントローラーボードの取り付けに注意が必要です。詳しくは、P.39「コントローラーボードを取り付けるときの注意」を参照してください。

拡張1394ボードを取り付ける

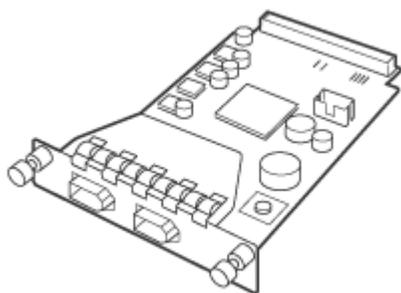
重要

- ❒ 拡張1394ボードを使用した接続には、IP over 1394とSCSI printがあります。使用できるWindowsと接続方法の関係は次のとおりです。Windows 95/98およびWindows NT 4.0ではIEEE 1394を使用できません。
  - Windows Me
    IP over 1394で接続できます。
  - Windows 2000
    SCSI printで接続できます。
  - Windows XP、Windows Server 2003
    IP over 1394およびSCSI printのどちらでも接続できます。
- ❒ Windows 2000では、Service Pack 1以降でのみ拡張1394ボードを使用できます。また、管理者権限のあるアカウントがないと、クライアントはプリンタードライバーをインストールできません。
- ❒ 拡張1394ボードに触れる前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。
- ❒ 拡張1394ボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ インターフェースケーブルを接続したままコントローラーボードを取り外すと、拡張1394ボードが破損する恐れがあります。取り付ける前にケーブルをプリンターから抜いてください。
- ❒ インターフェースケーブルは、拡張1394ボードに同梱のケーブルをご使用ください。
- ❒ プリンタードライバーのインストール中は、インターフェースケーブルを接続したり抜いたりしないでください。

補足

- ❒ 詳しくは拡張1394ボードに同梱の説明書を参照してください。

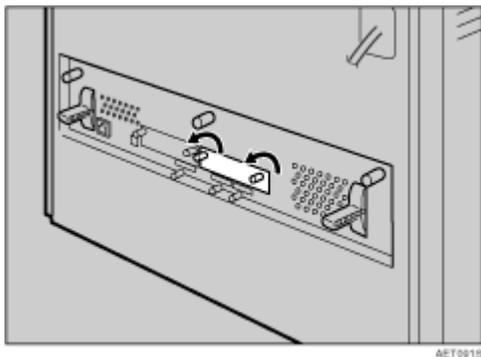
1 同梱品を確認します。

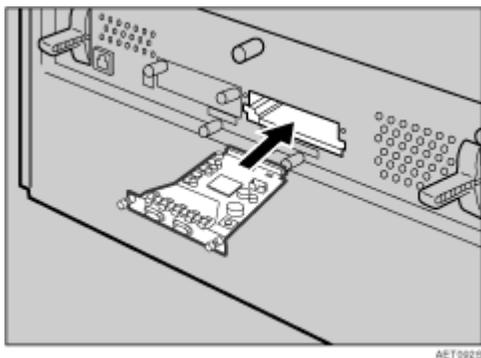
❖ 拡張1394ボード

ABT009S1

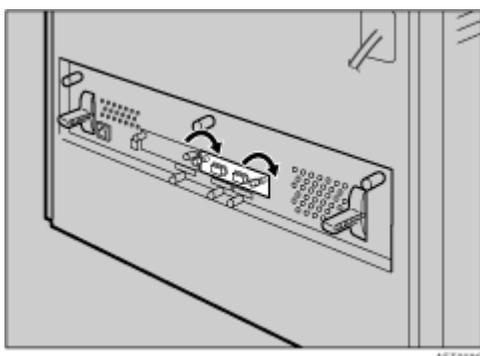
❖ インターフェースケーブル（6ピン×6ピン）

❖ インターフェースケーブル（6ピン×4ピン）

2 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 ねじ2個をゆるめ、拡張1394ボード取り付け部のカバーを取り外します。

取り外したカバーは使用しません。

4 拡張1394ボードを奥まで差し込みます。

拡張1394ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

5 ねじ2個を締め、拡張1394ボードを固定します。

補足

- ❒ 拡張1394ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストの「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張1394ボードが正しく取り付けられていると、「コントローラオプション」の欄に「IEEE 1394」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 拡張1394ボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.88 「IEEE 1394を使用する」を参照してください。

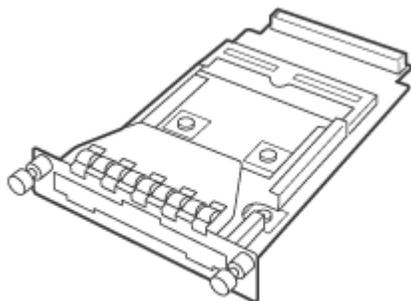
参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

拡張無線LANボードを取り付ける

★ 重要

- ❒ 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張無線LAN ボードが破損するおそれがあります。
- ❒ 拡張無線LANボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ ワイヤレスインターフェースボードと同時に使用することはできません。

1 同梱品を確認します。

❖ **インターフェースユニット**

AAL151S

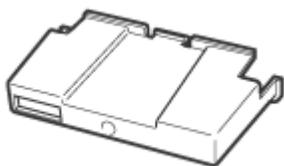
❖ **カード**

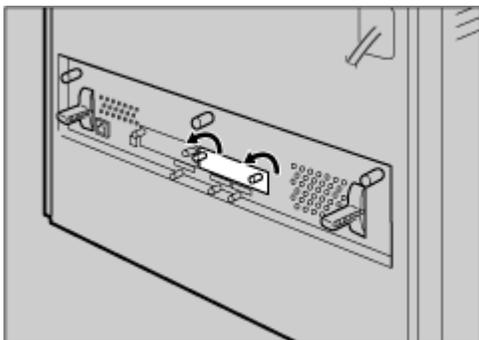
ZHBP420E

❖ **アンテナ**

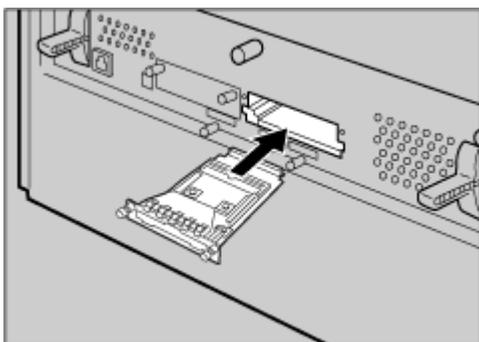
ZHBP430E

❖ **静電気防止カバー**

AAL088S

2 **本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

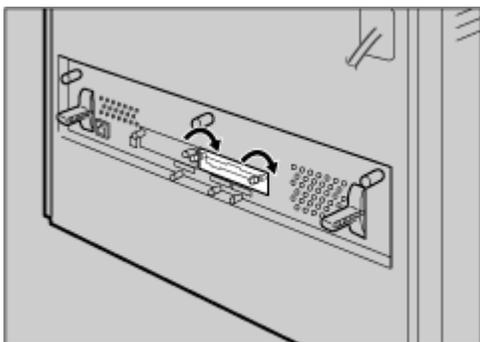
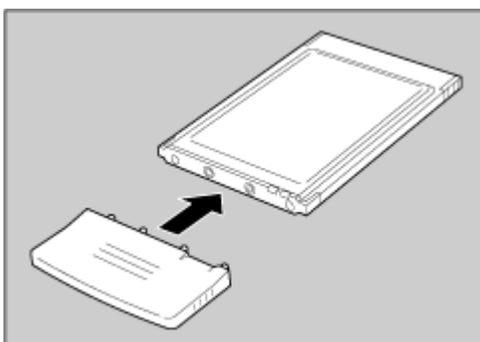
3 **ねじ2個をゆるめ、拡張無線LANボード取り付け部のカバーを取り外します。**

AET091S

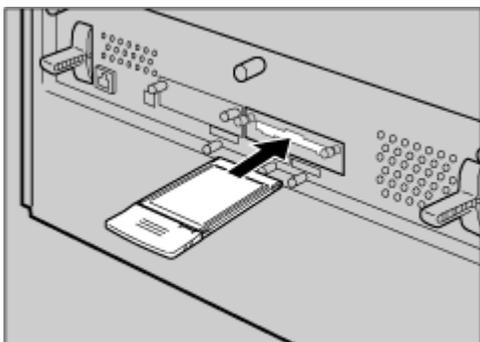
取り外したカバーは使用しません。

4 **インターフェースユニットを奥まで差し込みます**

AET094S

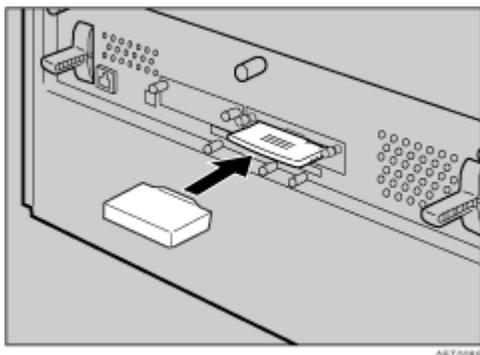
インターフェースユニットを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

5 ねじ2個を締め、インターフェースユニットを固定します。

AET095S

6 カードにアンテナを取り付けます。カードのラベルが貼られている面を下、アンテナの凹凸面を上にして取り付けてください。

AET096S

7 黒いアンテナ部分に凹凸のある方を上にして、ゆっくりと突き当たるまでインターフェースユニットにカードを差し込みます。

AET097S

8 静電気防止カバーの両角が切り込まれている方を手前にして、静電防止カバーをカードに取り付けます。

AET098S

補足

❒ 拡張無線LANボードが正しく取り付けられたかどうかは、「システム構成情報」の項目で確認できます。拡張無線LANボードが正しく取り付けられているときは、「コントローラオプション」の欄に「IEEE 802.11b」と記載されます。

❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

❒ 拡張無線LANボードをお使いになる前に、本機の操作部から設定する必要があります。詳しくは、P.83 「拡張無線LANを使用する」を参照してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

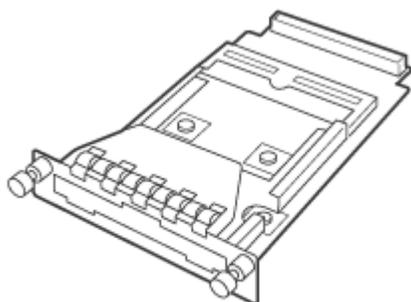
ワイヤレスインターフェースボードを取り付ける

重要

- ❒ ワイヤレスインターフェースボードを取り付けたプリンターで印刷できるのは、Bluetoothを搭載したパソコンです。
- ❒ 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気によりワイヤレスインターフェースボードが破損する恐れがあります。
- ❒ ワイヤレスインターフェースボードに物理的衝撃を与えないでください。
- ❒ 拡張無線LANボードと同時に使用することはできません。

1 同梱品を確認します。

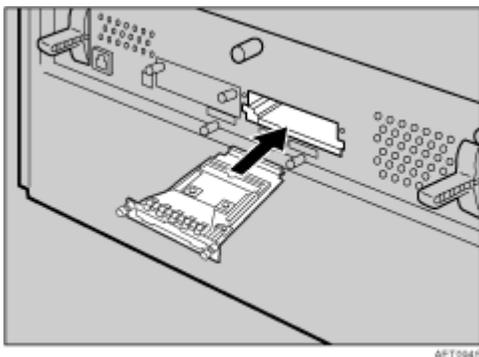
❖ インターフェースユニット

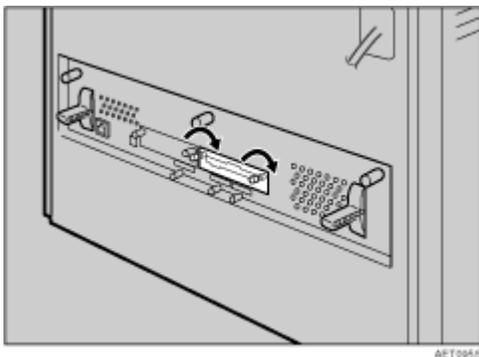
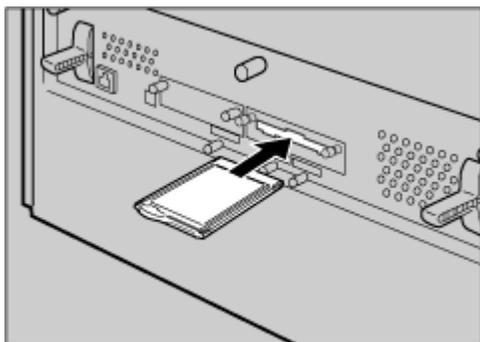
❖ カード

❖ 静電気防止カバー

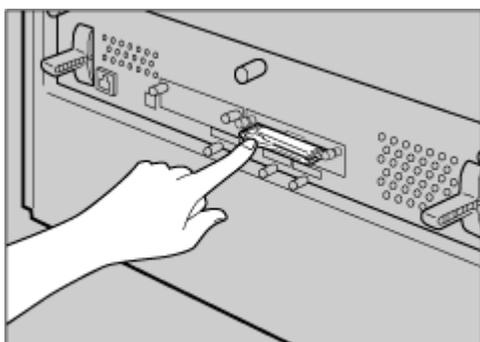
2 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

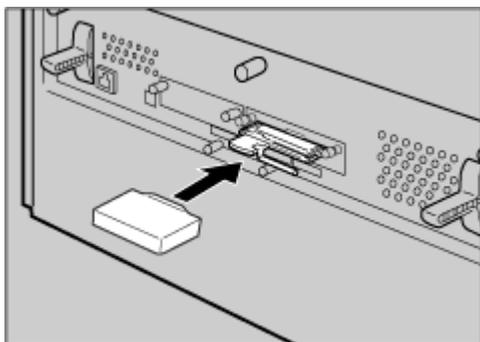
3 ねじ2個をゆるめ、ワイヤレスインターフェースボード取り付け部のカバーを取り外します。

取り外したカバーは使用しません。

4 ワイヤレスインターフェースボードを奥まで差し込みます。

ワイヤレスインターフェースボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

5 取っ手を持ち、コンねじ2個を締め、ワイヤレスインターフェースボードを固定します。コントローラーボードをゆっくりと手前に引き抜きます。

6 ラベルの「INSERT」と書かれた面を上にして、カードをワイヤレスインターフェースボードに突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

AET099S

7 アンテナを押して、ポップアップさせます。

AET100S

8 静電気防止カバーの両角が切り込まれている方を上にして、静電防止カバーをカードに取り付けます。

AET101S

補足

- ❒ ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。ワイヤレスインターフェースボードが正しく取り付けられていると、「システム構成情報」の「コントローラオプション」の欄に「BTボード」と記載されます。
- ❒ 正しく取り付けられていない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。
- ❒ 詳細は、ワイヤレスインターフェースボードに付属の使用説明書を参照してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

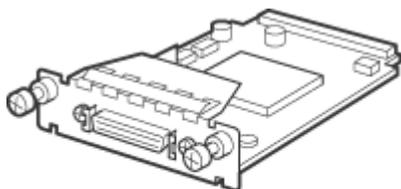
取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

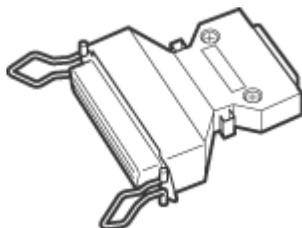
拡張1284ボードを取り付ける

重要

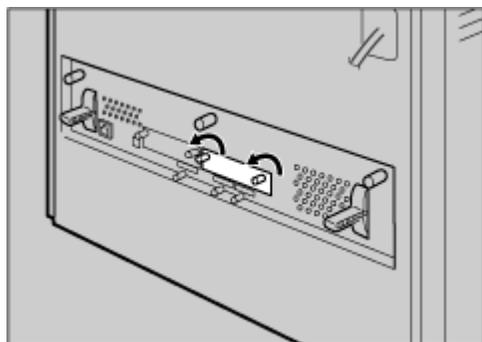
- ❒ 操作の前に金属製の物に触れて、身体に帯びた静電気を除いてください。静電気により拡張1284ボードが破損する恐れがあります。
- ❒ 拡張1284ボードに物理的衝撃を与えないでください。

1 同梱品を確認します。

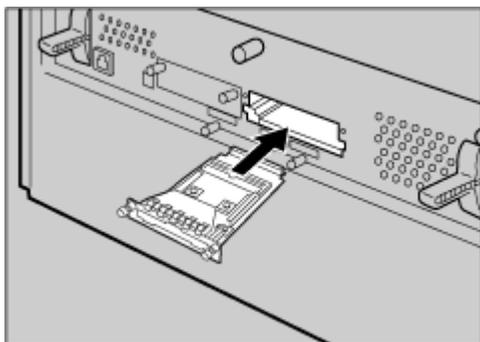
❖ **拡張1284ボード**

ABT041S1

❖ **変換コネクター**

ACE091S

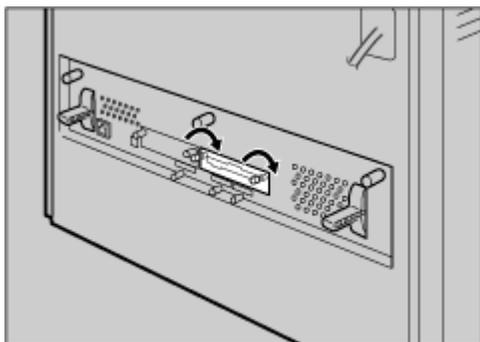
2 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

3 ねじ2個をゆるめ、拡張1284ボード取り付け部のカバーを取り外します。

AET091S

取り外したカバーは使用しません。

4 拡張1284ボードを奥まで差し込みます

AET094S

拡張1284ボードを奥まで押し込んで、コントローラーボードとしっかり接続していることを確認してください。

5 ねじ2個を締め、拡張1284ボードを固定します。

AET095S

補足

- 拡張 1284 ボードが正しく取り付けられたかどうかは、システム設定リストを印刷して確認します。拡張1284ボードが正しく取り付けられていると、「システム構成情報」の項目の「コントローラオプション」の欄に「パラレルインターフェース」と記載されます。
- 正しく取り付けられていない場合は、手順2からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

「システム設定リスト」の印刷手順は、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

取り外した部品は、販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理される場合は、一般の金属廃棄物と同様に処理してください。

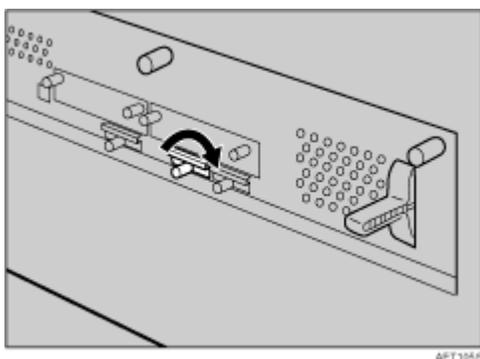
拡張エミュレーションカード、暗号化カードを取り付ける

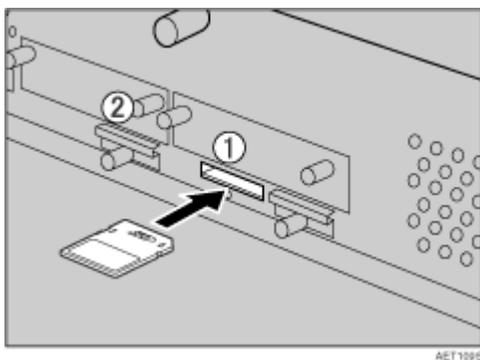
★ 重要

❒ **拡張エミュレーションカードおよび暗号化カードに、物理的衝撃を与えないでください。**

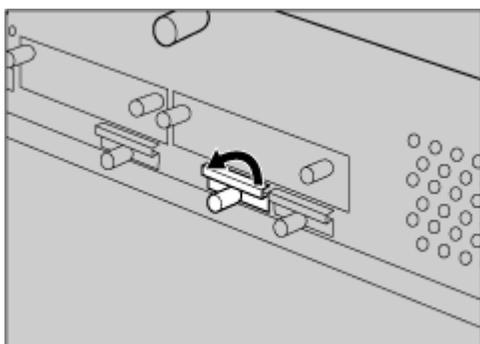
1 本機の電源が入っている場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 オプションカード用スロットのカバーを外します。

AET105S

3 カチッと音がするまで、拡張エミュレーションカードもしくは暗号化カードをスロットに差し込みます。

AET109S

★ 重要

❒ **同時に２種類のカードを使用する場合は、スロット①、②に差し込みます。１種類のカードを使用する場合は、スロット①に取り付けてください。**

4 スロットカバーを取り付けます。

補足

- ❒ 本機を使用中は、拡張エミュレーションカードまたは暗号化カードに触れないでください。少し押しただけで外れてしまうことがあります。必ずカバーを取り付けてください。
- ❒ 拡張エミュレーションカードおよび暗号化カードが正しく取り付けられたかどうかは、電源を入れてシステム設定リストを印刷して確認します。
  - 拡張エミュレーションカードが正しく取り付けられると、「システム構成情報」の「搭載エミュレーション」の欄にエミュレーションの名称が記載されます。
  - 暗号化カードは、システム設定リストには情報が記載されません。
- ❒ 正しく取り付けられない場合は、最初の手順からやり直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、サービス実施店に相談してください。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

イーサネットケーブルで接続する

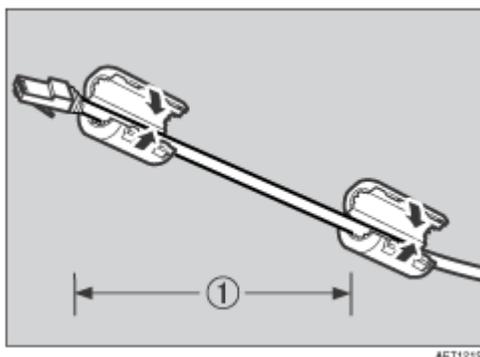
HUBなどのネットワーク機器を準備してから、本機にイーサネットケーブルを接続します。

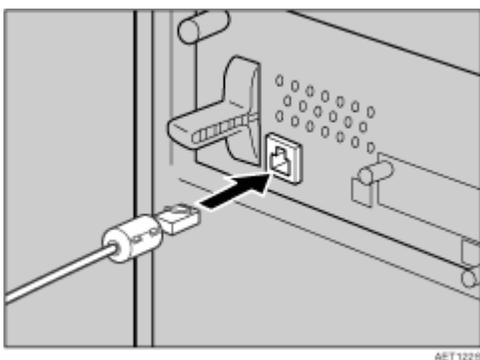
本機のイーサネットボード（ポート）に、10BASE-Tまたは100BASE-TXのケーブルを接続してください。

重要

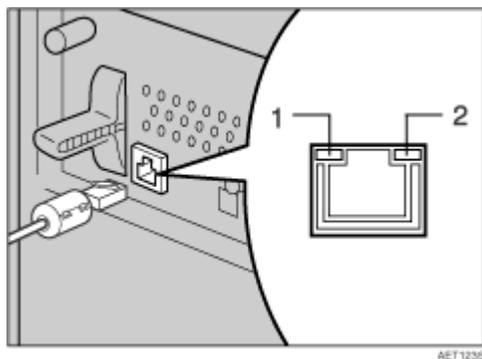
❒ **イーサネットケーブルは同梱されていません。ご使用になるネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。**

1 **同梱している２個のコアをイーサネットケーブルに取り付けます。 コネクターの根元に1個のコアを取り付け、根元から10cm（①）離したところにもう1個を取り付けます。**

AET121S

2 **プリンター本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。**

AET122S

3 **ケーブルのもう一方のコネクターをハブ（HUB）などのネットワーク機器に接続します。**

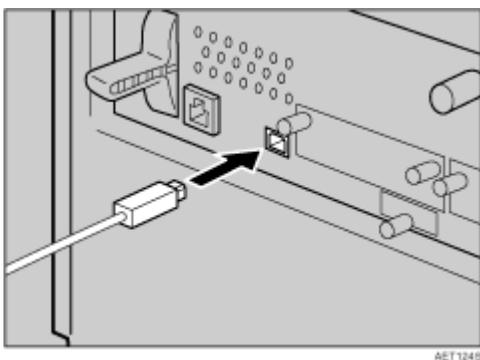
ネットワーク環境の設定については、P.78「イーサネットを使用する」を参照してください。

LEDの見かた

1. 100BASE-TX動作時は黄点灯し、10BASE-T動作時は消灯します。
2. ネットワークに正常に接続していると緑点灯します。

USBケーブルで接続する

重要

- ❒ USB接続は、Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Mac OS 9.x、Mac OS Xに対応しています。
- ❒ Windows 98 SE/Meのサポート速度は、USB1.1相当です。
- ❒ Macintoshでは、本体標準のUSBポートのみ対応しています。
- ❒ USBケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。
- ❒ インターフェースケーブルをお買い求めの際は、<メンテナンスガイド>「関連商品一覧」を参照してください。

1 プリンター本体背面のコネクターに、USBケーブルの小さい方のコネクターを接続します。

2 もう一方をパソコンのUSBインターフェース、USBハブなどに接続します。

これで、本機とパソコンの接続は終了です。パソコンにプラグアンドプレイ画面が表示されます。詳しくは、<ソフトウェアガイド>「印刷するための準備」を参照してください。

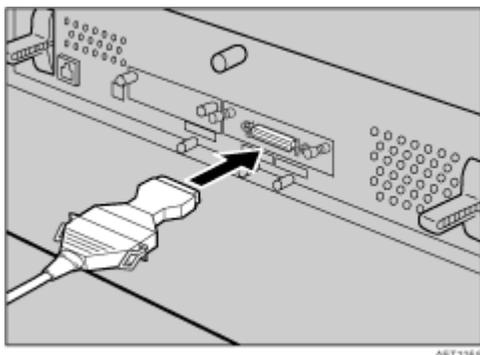
パラレルケーブルで接続する

パソコンとプリンターをパラレル接続するには、インターフェースケーブルを使用します。インターフェースケーブルはプリンターに同梱されていません。接続するパソコンによって使用するケーブルが異なりますので、ご使用のパソコンをご確認の上、インターフェースケーブルを用意してください。インターフェースケーブルについては、＜メンテナンスガイド＞「関連商品一覧」を参照してください。

★ 重要

❒ 必ず指定のインターフェースケーブルをお使いください。他のケーブルを使うと電波障害を起こすことがあります。

1 プリンター本体とパソコンの電源を切ります。

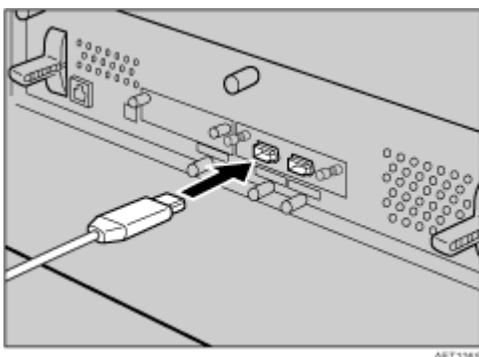
2 インターフェースケーブルを変換コネクターに接続し、拡張1284ボードのインターフェースコネクターに差し込みます。

3 パソコンのインターフェースコネクターにインターフェースケーブルのもう一方のコネクターを接続し、固定します。

これで、本機とパソコンの接続は終了です。次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、＜ソフトウェアガイド＞「印刷するための準備」を参照してください。

拡張1394ボードにケーブルを接続する

重要

- ❒ インターフェースケーブルは、拡張1394ボードに同梱のケーブルをご使用ください。
- ❒ ケーブルの接続をループ状にしないでください。

1 拡張1394ボードのコネクターにインターフェースケーブルを接続します。

補足

- ❒ コア付きのインターフェースケーブルを使うときは、コアに近い方のコネクターを拡張 1394 ボードのコネクターに接続してください。
- ❒ 拡張1394ボードのコネクターは左右どちらでも接続可能です。

2 インターフェースケーブルのもう一方を、パソコンに接続します。

これで、本機とパソコンの接続は終了です。次にプリンタードライバーをインストールします。詳しくは、<ソフトウェアガイド>「印刷するための準備」を参照してください。

イーサネットを使用する

本機の操作部を使ってネットワークに関する設定をします。

イーサネットケーブルやオプションの拡張無線LANボード、拡張1394ボードを使用して本機をネットワークに接続する場合は、使用するネットワーク環境に応じて、必要な項目を操作部で設定してください。

TCP/IPを利用できる環境でIPアドレスに関する設定をする場合は、Ridoc IO AdminやWebブラウザも使用できます。

設定できる項目と工場出荷時の値は、次の表のとおりです。これらの項目は、インターフェース設定メニューの項目です。

項目名	工場出荷時	
1.DHCP	Off	
2.IPアドレス	011.022.033.044	
3.サブネットマスク	000.000.000.000	
4.ゲートウェイアドレス	000.000.000.000	
5.NWフレームタイプ	ジドウセンタク	
6.有効プロトコル	TCP/IP	ユウコウ
	NetWare	ユウコウ
	SMB	ユウコウ
	AppleTalk	ユウコウ
7.イーサネット速度	ジドウセッテイ	
8.LANタイプ	イーサネット	

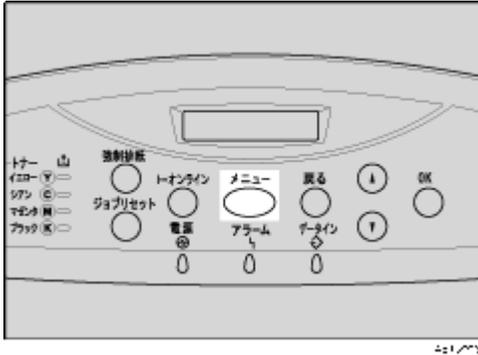
補足

- DHCP環境で使用する場合、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは自動的に設定されます。
- 「7.イーサネット速度」は必要に応じて設定してください。詳しくは<ソフトウェアガイド>「インターフェース設定メニュー」を参照してください。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

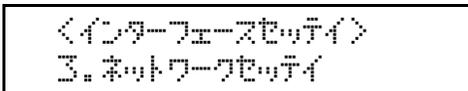
2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;メニュー&gt;
 インターフェースセッテイ
```

インターフェース設定画面が表示されます。

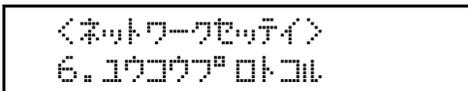
3 使用するプロトコルを有効にします。【▲】または【▼】キーを押して、「ネットワークセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

工場出荷時の設定は、冒頭の表を参照してください。

ご使用にならないプロトコルは「ムコウ」（無効）にしておくことをお勧めします。

```
&lt;インターフェースセッテイ&gt;
3.ネットワークセッテイ
```

ネットワーク設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウプロトコル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;ネットワークセッテイ&gt;
6.ユウコウプロトコル
```

ユウコウプロトコル設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、使用するプロトコルを表示させ、【OK】キーを押します。

```
&lt;ユウコウプロトコル&gt;
1.TCP/IP
```

ここではTCP/IPを有効にする例で説明します。

6 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<TCP/IP>
*ユウコウ
```

約２秒後、有効プロトコルを設定する画面に戻ります。無効にする場合は「ムコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

7 使用するプロトコルを続けて設定します。

8 有効にするプロトコルの設定が終了したら、【戻る】キーを押します。

ネットワークの設定項目を選択する画面が表示されます。

補足

- ❒ NetWare 5/5.1J、Netware 6のピュアIP環境でお使いになる場合は、TCP/IPプロトコルを「ユウコウ」（有効）に設定してください。

9 TCP/IP プロトコルを使用するときは、プリンターに割り当てる IP アドレスを設定します。【▲】または【▼】キーを押して、「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ネットワークセッテイ>
2.IPアドレス
```

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

- ❒ DHCPをOnに設定しているときは、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスの設定を変更することはできません。
- ❒ 拡張1394ボードを装着し、「IEEE 1394」のDHCPをOffに設定しているときは、ゲートウェイアドレスを変更できます。
- ❒ 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

10 【▲】または【▼】キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。

```
<IPアドレス>
19█.022.033.044
```

補足

- ❒ 【▲】または【▼】キーを押し続けると、値が10ずつ増減します。
- ❒ 変更の必要がないときは、【OK】キーを押すと、次のフィールドに移動します。
- ❒ 011.022.033.044は使用できません。指定しないでください。

11 【OK】キーを押します。

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

```
<IPアドレス>
192.02█.033.044
```

12 同じ操作を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。

一つ前のフィールドに移動するときは、【戻る】キーを押します。

13 TCP/IPプロトコルを使用するときは、IPアドレスの設定と同様の手順で「サブネットマスク」〜「ゲートウェイアドレス」までの項目を設定します。

14 TCP/IPプロトコルでDHCPを使用するときは、DHCPの設定をします。【▲】または【▼】キーを押して、「DHCP」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
1.DHCP
```

15 【▲】または【▼】キーを押して、「On」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<DHCP>
 *On
```

約２秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

16 NetWareを使用するときは、NetWareのフレームタイプを選択します。

選択できるフレームタイプは、以下のとおりです。

- ジドウセンタク（工場出荷時）
- ETHERNET II
- ETHERNET 802.2
- ETHERNET 802.3
- ETHERNET SNAP

補足

❒ NetWareのフレームタイプに「ジドウセンタク」を選択した場合は、起動時に最初に検知したフレームタイプに設定されます。したがって、複数のフレームタイプが使用可能なネットワークでは目的のフレームタイプに設定されないことがあります。その場合は、使用したいフレームタイプを選択してください。

17 【▲】または【▼】キーを押して、「NWフレームタイプ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ>
5.NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ
```

現在の設定が表示されます。

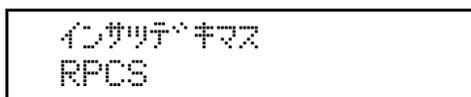
18 【▲】または【▼】キーを押して、使用するフレームタイプを表示させ、【OK】キーを押します。

```
<NWﾌﾚｰﾑﾀｲﾌﾟ >
*ｼﾞﾄﾞｳｾﾝﾀｸ
```

約２秒後、ネットワークの設定項目を選択する画面に戻ります。

19 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

20 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

システム設定リストの印刷方法については、P.35「テスト印刷する」を参照してください。

拡張無線LANを使用する

IEEE 802.11bを使用するときに必要な項目を設定します。

設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

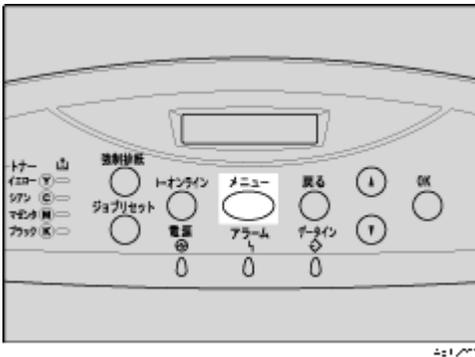
項目名	工場出荷時
1.ツウシンモード	802.11 アドホック
2.チャンネル	(1〜14)　　11
3.ツウシンソクド	ジドウセッテイ
4.SSID	入力値設定なし
5.WEPセッテイ	ムコウ

補足

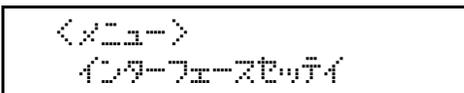
❒ 無線LANを使用するには、「I/F選択」でIEEE802.11bを選択したあと、ネットワーク設定の「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」「ネットワークブート」「NWフレームタイプ」「有効プロトコル」を設定する必要があります。設定方法については、P.78「イーサネットを使用する」を参照してください。

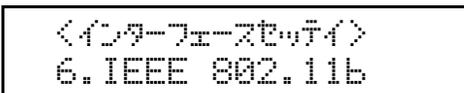
制限

❒ 拡張無線LANは、イーサネットインターフェースと同時に使用することはできません。

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
インターフェースセッテイ

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 802.11b」を表示させ、【OK】キーを押します。

<インターフェースセッテイ>
6.IEEE 802.11b

IEEE 802.11b設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「ツウシンモード」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 802.11b>
1.ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ
```

ツウシンモード設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、通信モードを選択し、【OK】キーを押します。

```
<ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ>
*802.11 ｱﾄﾞﾎｯｸ
```

設定が確定し、約２秒後にIEEE802.11b設定画面に戻ります。

6 通信モードで「802.11 アドホック」または、「アドホック」を選択した場合は、通信に使用するチャンネルを設定します。

補足

- 設定するチャンネルはネットワーク管理者に確認してください。
- SSIDを指定しない場合は、「アドホック」を選択します。

7 【▲】または【▼】キーを押して、「チャンネル」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 802.11b>
2.ﾁｬﾝﾈﾙ
```

現在設定されているチャンネルが表示されます。

8 【▲】または【▼】キーを押して、チャンネル数値を入力し、【OK】キーを押します。

```
<ﾁｬﾝﾈﾙ>
(1-14)          11
```

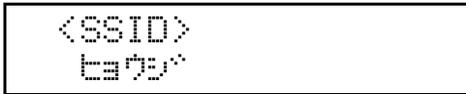
9 IEEE802.11b設定画面が表示されますので、同様の手順で「ツウシンソクド」を設定します。

10 通信モードで「802.11 アドホック」「インフラストラクチャー」を選択した場合は、通信に使用するSSIDを設定します。【▲】または【▼】キーを押して、「SSID」を表示させ、【OK】キーを押します。

設定するSSIDはネットワーク管理者に確認してください。

```
<IEEE 802.11b>
4.SSID
```

SSID設定画面が表示されます。

```
<SSID>
 ﾋｮｳｼﾞ
```

「ヒョウジ」を実行すると、SSIDが設定済みのときはSSIDを確認することができます。SSIDが未設定のときは、「SSIDハ　ニュウリョク　サレテイマセン」と表示され、IEEE 802.11b設定画面に戻ります。

11 【▲】または【▼】キーを押して、「ニュウリョク」を表示し、【OK】キーを押します。

```
<SSID>
 ﾆｭｳﾘｮｸ
```

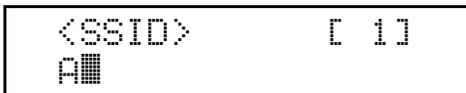
【OK】キーを押すとSSID入力画面が表示されます。

上段右端[ ] 内の数字は、入力済の桁数を表しています。

12 【▲】または【▼】キーで文字を選択して、【OK】キーを押します。

```
<SSID>        [ 1]
A
```

カーソルが次の桁に移ります。

```
<SSID>        [ 1]
A▒
```

13 続けて文字列を入力します。

SSIDで使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号で32バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

【戻る】キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

14 文字列の入力が完了したら、【OK】キーを押します。

設定が確定し、IEEE 802.11b設定画面に戻ります。

15 ネットワーク内でWEPキーを使用している場合は、通信に使用するWEPキーの設定と、WEPを有効にします。

設定するWEPキーはネットワーク管理者に確認してください。

16 【▲】または【▼】キーを押して、「WEPセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 802.11b>
5.WEPセッテイ
```

WEP設定画面が表示されます。

```
<WEPセッテイ>
*ムコウ
```

17 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<WEPセッテイ>
 ユウコウ
```

WEPキー変更画面が表示されます。

```
<WEPキーヘンコウ>
 スル(HEX)
```

補足

- ❒ WEPセッテイを「ユウコウ」にした場合、必ずWEPキーの入力が必要です。WEPキーを未入力の場合には、必ず入力してください。
- ❒ 既に入力済みで設定の切り替えを行なう場合には、【▲】または【▼】キーを押して、「シナイ」を表示させて、【OK】キーを押してください。

18 【▲】または【▼】キーを押して、WEPキーを16進数で入力する場合は「スル(HEX)」を表示させ、ASCII文字列で入力する場合は「スル(ASCII)」を表示させ、【OK】キーを押します。

WEPキー入力画面が表示されます。

上段右端[ ]内の数字は、入力済の桁数を表しています。

19 【▲】または【▼】キーで文字を選択して、【OK】キーを押します。

```
<WEPキー>        [ 1]
A
```

カーソルが次の桁に移ります。

```
<WEPキー>        [ 1]
*
```

続けて文字列を入力します。

補足

- ❒ 64bit WEPを使用する場合、16進数では10桁、ASCII文字列では5桁の文字列が使用できます。128bit WEPを使用する場合、16進数では26桁、ASCII文字列では13桁の文字列が使用できます。
- ❒ 入力できる桁数は、16進数の場合は10桁か26桁、ASCII文字列の場合は5桁か13桁に限られます。それ以外の桁数で入力を完了させると、以下のメッセージがディスプレイに表示されます。
  - 16進数の場合

```
ｹﾀｽｳｶﾞﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ
      (10ﾏﾀﾊ26ｹﾀ)
```

  - ASCII文字列の場合

```
ｹﾀｽｳｶﾞﾀﾀﾞｼｸｱﾘﾏｾﾝ
       (5ﾏﾀﾊ13ｹﾀ)
```

- ❒ ASCII文字列の場合、大文字と小文字はそれぞれ別の文字として認識されます。
- ❒ 【戻る】キーを押すと、一つ前の桁に戻ります。

20 文字列の入力が完了したら、【OK】キーを押します。

設定が確定し、IEEE 802.11b設定画面に戻ります。

21 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

22 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.35「テスト印刷する」を参照してください。

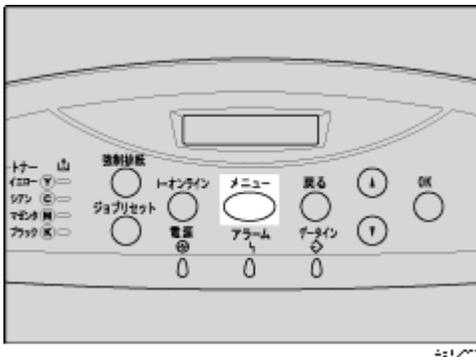
IEEE 1394を使用する

IEEE 1394を使用するときに、プリンターの操作部から必要な項目を設定します。
設定できる項目と工場出荷時の値は次のとおりです。

項目名	工場出荷時
1.DHCP	Off
2.IPアドレス	011.022.033.044
3.サブネットマスク	000.000.000.000
4.IP over 1394	ユウコウ
5.SCSI print	ユウコウ
6.SCSIprintソウホウコウ	スル

❒ DHCP環境で使用する場合、IPアドレスおよびサブネットマスクは自動的に設定されます。

IP over 1394の場合

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<メニュー>
インターフェースセッテイ

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 1394 セッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ>
5.IEEE 1394ｾｯﾃｲ

IEEE 1394設定画面が表示されます。

4 【▲】または【▼】キーを押して、「IP over 1394」を表示させ、【OK】キーを押します。

<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
4.IP over 1394

IP over 1394設定画面が表示されます。

5 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」（有効）か「ムコウ」（無効）かを表示させ、【OK】キーを押します。

<IP over 1394>
*ﾕｳｺｳ

設定が確定し、約２秒後にIEEE1394設定画面に戻ります。

6 プリンターに割り当てるIPアドレスを設定します。【▲】または【▼】キーを押して、「IPアドレス」を表示させ、【OK】キーを押します。

<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
2.IPｱﾄﾞﾚｽ

現在設定されているIPアドレスが表示されます。

補足

- ❒ ネットワーク設定と同じIPアドレス、または同じサブネットにあるIPアドレスを設定しないでください。
- ❒ 設定するIPアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

7 【▲】または【▼】キーを押して、カーソルのあるフィールドの値を変更します。

<IPｱﾄﾞﾚｽ>
19█.022.033.044

補足

- ❒ 【▲】または【▼】キーを押し続けると、値が10ずつ増減します。
- ❒ 変更の必要がないときは、【OK】キーを押すと、次のフィールドに移動します。
- ❒ 011.022.033.044は使用できません。指定しないでください。

8 【OK】キーを押します。

フィールドに値が入力され、次のフィールドにカーソルが移動します。

```
<IPｱﾄﾞﾚｽ>
192.02■.033.044
```

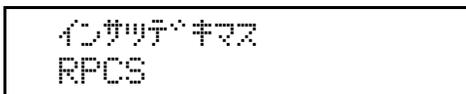
9 同じ操作を繰り返し、すべてのフィールドに値を入力して、【OK】キーを押します。

一つ前のフィールドに移動するときは、【戻る】キーを押します。

10 IPアドレスの設定と同様の手順で、「サブネットマスク」を設定します。

11 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

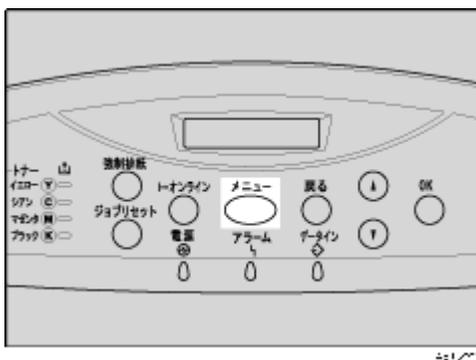
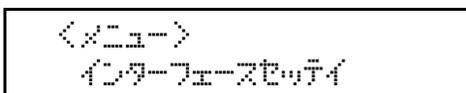
通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

12 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

SCSI printの場合

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ
```

3 【▲】または【▼】キーを押して、「IEEE 1394セッテイ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｾｯﾃｲ>
5.IEEE 1394ｾｯﾃｲ
```

IEEE 1394設定画面が表示されます。

4 「SCSI print」と「SCSIprnt ソウホウコウ」を設定します。

工場出荷時の設定は「SCSI print」が「ユウコウ」、「SCSIprnt ソウホウコウ」が「スル」です。

5 【▲】または【▼】キーを押して、「SCSI print」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<IEEE 1394ｾｯﾃｲ>
5.SCSI print
```

6 【▲】または【▼】キーを押して、「ユウコウ」(有効)か「ムコウ」(無効)かを表示させ、【OK】キーを押します。

7 同様の手順で「SCSIprintソウホウコウ」を設定します。

8 すべての設定が終了したら、【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻り、設定した項目が有効になります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

9 システム設定リストを印刷して、設定した内容を確認します。

参照

システム設定リストの印刷方法については、P.35 「テスト印刷する」を参照してください。

付属のCD-ROMについて

付属のCD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」には、プリンターを使用するために必要なプリンタードライバーやユーティリティーなどの各種ソフトウェアが収録されています。プリンターとの接続に応じて、ご使用になるパソコンに必要なソフトウェアをインストールしてください。

重要

❒ 付属CD-ROMの対応OSは、Windows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0です。

おすすめインストール

Windowsをご使用の場合、付属CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

「おすすめインストール」を実行すると、プリンターをネットワーク接続している場合は「RPCSプリンタードライバー」と「Ridoc IO Navi」がインストールされ、TCP/IPポートが設定されます。プリンターをパラレル接続している場合は「RPCSプリンタードライバー」がインストールされ、LPT1ポートが設定されます。

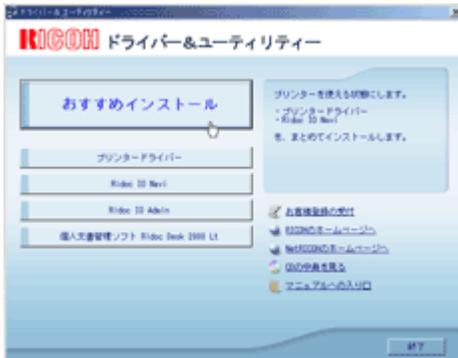
重要

- ❒ ご使用のOSがWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合、管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 本機を USB 接続で使用する場合、「おすすめインストール」ではプリンタードライバーをインストールすることができません。USB接続で使用する場合は、＜ソフトウェアガイド＞「USB接続」を参照してください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットします。

インストーラーが起動します。

3 [おすすめインストール] をクリックします。

[使用許諾] ダイアログが表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [次へ] をクリックします。

5 [モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。パラレル接続の場合、[接続先] にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

6 [インストール] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされ、[導入完了] ダイアログが表示されます。インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoftのメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

7 ［完了］をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示された場合は、Windowsを再起動してください。

8 最初の画面で［終了］をクリックし、CD-ROMを取り出します。

補足

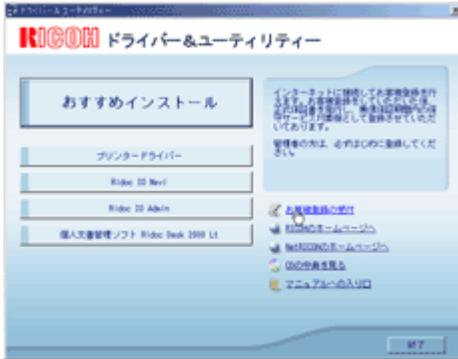
- インストールの途中で［キャンセル］を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

参照

パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールをすることができません。<ソフトウェアガイド>「双方向通信が働かない場合」を参照して、本機とパソコン間の双方向通信を設定してください。

お客様登録

インターネットでお客様登録をすることができます。お客様登録をしていただくことにより、正式保証書を発行し、無償保障期間の保守サービス対象機として登録させていただきます。

1 ［お客様登録の受付］をクリックします。

ご使用のブラウザが起動し、お客様登録のページが表示されます。

2 ページ内の指示に従って登録します。

3 登録終了後、Webブラウザを終了します。

4 最初の画面で［終了］をクリックします。

これでお客様登録は終了です。

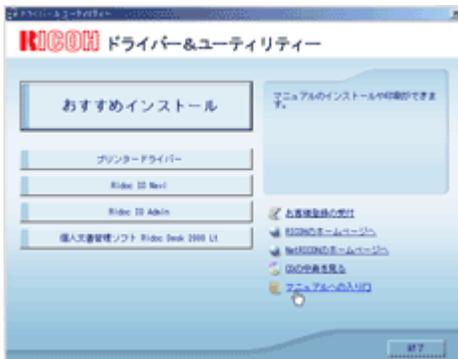
- ❒ インターネットに接続している場合に利用できます。
- ❒ お客様登録はがきをご返送いただきましても、同様の保証内容となります。

使用説明書のインストール

付属のCD-ROMには、HTML形式の使用説明書が収録されています。ご利用になる場合は、使用説明書をインストールしてください。

重要

- インストールするために必要な条件は以下のとおりです。
  - OSがWindows 95/98/Me、Windows 2000/XP、Windows Server 2003またはWindowsNT4.0である
  - ディスプレイの表示解像度（デスクトップ領域）が800×600ピクセル以上である
- 推奨ブラウザは以下のとおりです。
  - Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2 以降
  - Netscape 6.2 以降
- Internet Explorer 3.02以上またはNetscape Navigator 4.05以上をお使いの場合は、バージョンの低いブラウザ向けに簡素化したマニュアルが表示されます。
- Macintoshをご利用の方でも、HTML形式のマニュアルを開くことができます。

1. ［マニュアルへの入り口］をクリックします。

2. ［マニュアルをインストールする］をクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールをします。
4. インストールが完了したら、［終了］をクリックします。
5. 最初の画面で［終了］をクリックします。

補足

- マニュアルは通常用と簡易表示用の２種類を収録しています。使用環境に合わせてお選びください。
- インストールがうまくできないときは、CD-ROMの「Manual」フォルダをすべてローカルディスクにコピーして、「Setup.exe」を実行します。
- インストールした使用説明書を削除する場合は、Windowsの[スタート]から[プログラム]をクリックし、[お使いの機種名]からアンインストールを実行してください。
- 推奨外のWebブラウザをお使いの場合で、簡素化したマニュアルが自動的に表示されないときは、CD-ROMの「Manual」→「CX400」→「ja」→「(分冊名)」→「unv」フォルダ内にある、「index.htm」を開いてください。